

会報

August
2010

Vol. 56

2010年9月18日開催

第
7
回

名城大学Day

教育ときずな

校友会企画 全国物産展・校友会活動展示 ぜひご参加を!
(詳細は2・3頁に記載)

公募制推薦入学試験(卒業生子女要項)

[法学部・経済学部・人間学部・農学部・薬学部・都市情報学部]



名城大学校友会

第7回

名城大学 Day

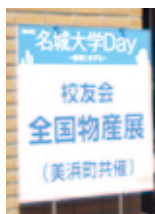
教育ときずな

2010

9/18(土)



ぜひご参加を!



全国の卒業生の皆さんにとりまして、大学が発展していくのは嬉しいものです。卒業してから一度も大学に來られていない方、なかなか忙しくて來られない方にぜひ来ていただきたいのが名城大学Dayです。そして今年は第7回になります。

今

年の名城大学Dayは平成22年9月18日(土)の10時から名城大学の天白キャンパスで開かれます。毎年5000人の来場者があります。

在校生、卒業生、地域の皆様、大学へ入学を希望される高校生の皆さんなど多くの方々が集まります。大学主催で校友会が積極的に協力する大学行事としては最大級の催しです。大学は、各種イベント、講演会、名城グッズ販売等で、校友会は毎年恒例の名物行事として、全国各地の支部からのご協力で各地の名産品を集めた全国物産展を行います。

講演会が終了する午後から、共通講義棟北の軒下にて開催します。

是非各地の名産品を目で見ながら、全国支部からの選りすぐりの品を購入してください。

卒業されて、こんなにも変わった大学を是非ご自分の目でご覧ください。

お世話になった先生との交流も楽しいでしょう。学んだ大学構内を歩くのも良いでしょう。青春の思い出に浸るのも良いでしょう。

そしてお帰りに校友会館にぜひ立ち寄り、いただいた卒業生の皆さんと交流しましょう。

第7回 名城大学Day

日時 … 平成22年9月18日(土)

10時~16時(予備日:翌19日)

場所 … 名城大学天白キャンパス
(名古屋市中白区塩金1-501)

入場料 … 無料

テーマ … 「教育ときずな」

◎主な行事(抜粋)

・校友会全国物産展

・校友会活動展示

・名城大学×読売新聞 エコキャンパスプログラム

「いきものシンポジウム」里山と自然、人とのつながり」

・創作童話朗読会

夢中人3「けいさんとゆうさん(おじい) withみずき」

「新・校の下で月の下で」他

(本学卒業生で童話作家の鬼頭隆氏らによる童話朗読会)

・公開講座

*《自分でできる「起業」手続き》

*《アメリカ政治のウソとホント》

*《世界中で販売されているビッグマックから見た外国為替相場と為替相場はどう決まる?》

*《アメリカ合衆国オバマ政権における公共事業と産業育成》

*《省エネカーの開発と技術の育成》

*《親子で楽しめる天白街並み環境講座》

*《家族のきずな…「継承」という視点から考える》

*《アナウンサーが教える好感度アップ!の話し方》

*《親子算数教室》

◎その他 全30数講座 開催



作品展



☞ 校友会の活動は、「年会費」によって支えられています。

校友の絆を強め、校友会活動の活性化と母校の発展のため、年会費をぜひ納入くださいますようお願いします。

会費納入 キャンペーン



名城ロゴ入りクロック
NARUMIガラスワークス

(60歳以上の方)
終身会費 30,000円以上
年会費 3,000円以上

本年12月までに終身会費をお納めいただいた方全員に「名城ロゴ入りクロック」を贈呈いたします。また、年会費を納入いただいた方には「名城オリジナルボールペン」を贈らせていただきます。



さらに本年12月までに終身会費・年会費をお納めいただきました方の中から抽選で100名様に各種名城オリジナルグッズを贈らせていただきます。平成23年2月、正副会長による厳正な抽選の上で発送させていただきます。なお、当選は発送をもって代えさせていただきます。

年会費の振込について

- ◎同封の払込用紙を使用して、お近くのゆうちょ銀行・郵便局のどこからでも振込できます。
- ◎同封の払込用紙以外で振込まれる場合は、必ず住所、氏名、会員番号または卒業学部名と卒業年次・年齢をご記入ください。
- ◎60歳以上（年齢を明記してください）の校友会員には終身会費30,000円以上を選択いただいても結構です。

振
込
口
座

ゆうちょ銀行・郵便局
00870-1-17296 名城大学校友会

※名城カードで年会費を口座振替される方には、
同封の払込用紙に「名城カードにより9月引落」の印字があります。



平成21年12月までに校友会費を納入いただいた方に
各種名城オリジナルグッズを贈る抽選会

※「第14回正副会長会議」（平成22年1月22日開催）において
厳正な抽選のうえで当選者を決定いたしました。当選は発送を
もって代えさせていただきます。

名城カードにご入会ください。

『イオンカード』『UCSカード』が好評です

共通のカードを持つことで校友会と皆様、あるいは皆様相互を結び、絆がさらに強くなることを願って《名城カード》を作りました。同窓生の輪を拡げるためには是非《名城カード》に入会してください。



詳しいことは、
同封のカード会社の
リーフレットをご参照下さい。

母校名城大学を応援する強力な組織に向けて

卒業生の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より名城大学校友会に対し格別なるご支援、ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

さて、名城大学校友会は平成22年3月に3367名の新しい会員を迎え、今日では16万6839名の会員を擁する中部地区最大の卒業生組織に発展して参りました。名城大学校友会には現在、国内36支部、海外1支部（台湾）が組織されております。卒業生はそれぞれの地域、経済界、産業界、教育界、官界、医療界等でご活躍されておられます。私は昭和46年3月に名城大学薬学部を卒業し現在、医薬業界に身を置いており、名城大学卒業生であることに常日頃から自信と誇りをもって生きております。名城大学を卒業したことに誇りをもって、そして実社会でいかに人々のために貢献できるのかを常々考えながら進んでいる毎日です。

日本の人口は長期的には減少傾向の時代に突入して参ります。人口の減少は18歳人口の減少をも意味しており、受験生の獲得競争は国公立大学を問わず厳しいものとなっております。母校名城大学が発展するには在学生の確保と在学中からの校友会への認識向上が必要であります。名城大学校友会では在学生と校友会との交流会や校友会奨学金制度の活用など、在学生との絆をさらにパワーアップして展開したいと考えております。

名城大学校友会が更なる発展を期し、母校名城大学を応援する強力な組織となるために卒業生の皆様方からのお力添えをお願いいたしますとともに私自身微力ではありますが全力を尽くして参る所存であります。

校友会長3期目に入り、今年度はさらにパワーアップした校友会活動を展開する所存でございますので今まで以上のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に卒業生の皆様お一人お一人のご多幸を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

名城大学校友会会長 林 譽史朗（薬・薬・S46卒）



校友会とともに

学校法人名城大学理事長 大橋 正昭



このたびは名城大学校友会会報第56号の発刊に際しまして、校友の皆様にご挨拶を申し述べる機会を頂き、誠にありがとうございます。卒業生の皆様には、平素より、母校の発展にご理解とご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、現在の社会は、大変厳しいものがあります。政治・経済ともに、今や世界規模の混乱期にあります。

まず、政治の面では、アメリカと日本において歴史的な政権交代があり、国民の大きな期待が寄せられました。我が国における新政権においても政治資金問題や米軍基地移転問題など国民からの信頼が得られず、内閣が交代致しました。その一方で、公立高校の授業料無償化や、子ども手当が実施されましたが、財源不足の問題もありいまだに安定した社会からは程遠い状況にあります。また経済においては、サブプライムローンの破綻に端を発した世界的な金融恐慌から完全に脱却できず、緩やかな景気回復にとどまっております。さらに、ユーロ圏ではギリシャの債務を端に発して混乱が続いており、その上、いまだ民族間の紛

争が続く地域もあり、テロ行為も横行しており、社会的にも不安定な情勢が続いております。

皆様ご承知のとおり、大学を取り巻く環境も一段と厳しさを増しております。

国・公・私立を問わず大学は競争と評価の時代にあります。このような状況の中で、学校法人名城大学では2015年までの基本戦略であるMS-15に基づいた学校づくりを引き続き推進してまいります。

施設・設備の充実としましては、一昨年9月に名駅サテライト(MSAT)を開設致しました。幸いにも校友の皆様には、日頃より多くのご利用を頂きまして感謝しております。昨年度における実際の活用状況を見ましても、利用件数のうち実に約4割が卒業生の皆様によるご利用です。今後とも卒業生の交流拠点として大いに活用して頂きたいと思っております。

さらに今年度より、卒業生の皆様に関する情報につきまして、校友会により管理されているデータと、本学において管理しておりますデータを一元管理するという運びとなりました。今後はさらに多くの卒業生の皆様と、より円滑なコミュニケーションを図ることができると期待しており、まさに真の意味で校友会と大学が一体となり、校友会と本学発展のために寄与できるものと期待しております。

卒業生の方々とは、すべての面において質の向上を図り、名城大学を更に光り輝く大学にしたいと考えております。どうか校友の皆様には、オール名城の一員として母校発展のために引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

卒業生の自覚と責務とは

名城大学学長 下山 宏



卒業生の皆様には、平素より母校の発展のためにご理解とご協力いただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

さて、私は昨年9月に卒業した100名の卒業生と今春3月に社会に飛び立った学部・大学院の卒業生・修了生3318名の門出に際して、私の期待を込めて次のとおり卒業生としての自覚と役割について述べましたので、その一節をご紹介します。と思います。

卒業していく皆さんにとって、名城大学は母校です。そして今、卒業していく皆さんは、まさに母校である名城大学を出航し、社会の荒波の中に漕ぎ出そうとしているところだと思えます。母校というのは、文字通り母なる学び舎、すなわち自分がそこで学び、卒業した学校のことを意味すると同時に、母なる港、すなわちその船が根拠地としている港のことを意味します。海は静かなときもあれば、シケで大荒れの時もあります。しかし、皆さんを取り巻く社会的環境が厳しくとも、母校で学んだ基礎学力とチャレンジ精神をもって立ち向かっていけば、必ず航路は切り開けます。皆さん

の周りには、16万6千人を超える母校の先輩がいて、ある時には厳しく、ある時には親身になって支援してくれることと存じます。何年か経った時には、今度は皆さんが先輩として後輩をサポートする番になります。そのためには、同じ母校の卒業生同士がネットワークを作り、いろんな局面で相互に支え合うことが極めて重要なのです。

母港を出航した船は、遅かれ早かれ必ず母港に戻ってきます。時には不漁のときもあるでしょうが、反対に、大漁旗を掲げて意気揚々と帰ってくることもあります。港を出入りする船の数が多ければ多いほど港は栄えます。卒業生の皆様には、どうか機会を見つけてできるだけ母校である名城大学に足を運んでほしいと願っております。私は、「母なる学び舎である母校は、母なる港である母港に通ずる」、即ち「母校は母港に通ずる」と思っております。

最後になりますが、卒業生の皆様との連携は、MS-15の中でも本学の取り組みべき重要課題と位置付けております。大学の発展のためには、卒業生の皆様との連携が不可欠です。名城大学は、本年開学84年を迎えました。この先には、90周年、そして100周年を迎えます。この記念すべき時を迎えるためにも、卒業生相互の強力なネットワークと大学との強い連携が築き上げられ、母港である名城大学が卒業生の交流拠点としてますます繁栄することを願っております。

校友会事業計画

PROJECT 2010

1970年以降急速に発展してきたグローバルゼーション（Globalization）社会的あるいは経済的な連関が、旧来の国家や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大して様々な変化を引き起こす現象は新しい自由主義経済に多大な変革を与えている。

我が国の大学もグローバルゼーションの中で大きな変化を続けている。第一に少子化による18歳人口の減少、第二に留学生の量的拡大、第三に国立大学の法人化、第四に私立大学の設置認可の弾力化による多数の大学の誕生、結果、競争が従来に比して一層激化し、大学間格差は増大したといっても過言ではない。

このような競争原理の中で、私立大学に課せられた課題は余りに多く、中部地区最大の文理融合型総合大学である名城大学はこれら諸問題解決の一翼を担うための負託に応える責任が一層増大している。

校友会はかかる状況を踏まえ、「人と人とのつながり―心の絆―」をもって、卒業生ネットワークをより強力なものとし、準会員への支援・交流を通して校友会に対する理解活動に務め、母校名城大学とのさらなる連携強化、目的達成のため「基本方針」を策定し、目的と役割を明確にした。

校友会会員のご理解、ご支援をお願いする次第である。

基本方針

- 1 各同窓会・同窓会・理工9学科との連携強化
- 2 愛知県支部結成推進（支部の組織強化）各種名城会の結成推進
- 3 校友会費納入の促進
- 4 ホームページの充実
- 5 奨学金制度の充実
- 6 大学との連携強化
- 7 会員名簿の管理充実
- 8 太白キャンパス内の校友会館設置充実
- 9 大学の諸行事への直接的参加
- 10 「卒業30周年ホームカミングデー」への協力
- 11 大学・校友会による「地区別在学主交流会」継続実施、在学生支援方策模索
- 12 名城育ちの達人による講演会啓発

総務

- 1、奨学制度
- 2、会員名簿の管理
- 3、インターネット・ホームページ
- 4、名城カード
- 5、準会員に対するクラブ活動の援助について
- 6、卒業生の招待について
- 7、卒業子女の推薦入学制度の推進について
- 8、駅伝等の在学生への応援
- 9、「個人情報保護管理規程」適正運用
- 10、関係担当部門との連携による規定化・見直し
- 11、サテライト施設の有効活用
- 12、各同窓会との連携強化

財務

- 1、校友会財政について
- 2、名城カードについて
- 3、終身会費と年会費について
- 4、予算配分制度の見直しについて
- 5、支部会計報告書式の見直しについて

企画

- 1、校友会会報発行
- 2、校友会の生涯相談コーナーの設置
- 3、名城大学Day、卒業30周年ホームカミングデーへの参加
- 4、会員との繋がりを強化するため、名城大学キャンパス見学の援助
- 5、大学との繋がりを強化するため、懇談会を開催
- 6、卒業生で組織する各種会合間の連携強化
- 7、サテライト施設を活用し、「名城育ちの達人」による講演会実施

支部

- 1、支部総会の開催
- 2、支部長会の開催
- 3、支部活性化に向けて
- 4、企画助成金の活用
- 5、地区別在学生との交流会の開催
- 6、愛知県支部立ち上げの支援活動

同窓会

- 1、全同窓会正副会長との意見交換会の開催
- 2、校友会館移転計画について
- 3、大学MS-15への協力支援

告示

校友会会則の改正について

平成22年7月17日開催の第76回定例理事会において議決されました名城大学校友会会則の一部改正について会則第33条の規定により告示します。

平成22年7月17日
名城大学校友会 会長 林 馨史朗

抄

第9条 会員は、毎年度ごとに会費3,000円以上を納入しなければならない。ただし、満60歳以上の会員については、終身会費として30,000円以上を一括納入することができる。

附 則 この会則は平成22年5月1日から施行する。

（――のあるところが改正のところです。）

◎会則その他各規定細則等については校友会にお問い合わせください。

褒章・叙勲

平成21年度(秋)

- ➔ 瑞宝中綬章… 縄田 正人 氏 (教育研究功労) (理工学部・電気工学科・昭和30年卒)
- ➔ 旭日双光章… 坂梨 孝男 氏 (薬事功労) (薬学部・薬学科・昭和35年卒)
- ➔ 黄綬褒章… 牧 甫 氏 (業務精励・不動産業) (理工学部・電気工学科・昭和41年卒)
- ➔ 藍綬褒章… 堀 知靖 氏 (消防功績) (理工学部・土木工学科・昭和40年卒)
- ➔ 藍綬褒章… 増井 勇夫 氏 (社会福祉功績) (薬学部・薬学科・昭和42年卒)

平成22年度(春)

- ➔ 瑞宝小綬章… 堀内 孝英 氏 (教育研究功労) (理工学部・建築学科・昭和36年卒)
- ➔ 旭日双光章… 坂崎 正義 氏 (自動車関連事業振興功労) (短期大学部・商経科・昭和36年卒)
- ➔ 瑞宝双光章… 三澤 博敬 氏 (建設行政事務功労) (理工学部二部・土木工学科・昭和41年卒)

スポーツ・文化後援会だより

平成22年度の会費(一口5000円以上)
をお願いいたします！

スポーツ・文化後援会は、
次の支援活動を積極的に行っています。

- 1、スポーツクラブ、文化系クラブを支援し、元気で健全な学生生活を応援しています。
- 2、キャリアセンターを通して、学生の就職活動を応援しています。
 - ① 賛助企業の就職相談会(学内企業セミナー)の実施
 - ② 就職希望者への賛助企業紹介
- 3、ボランティア活動への支援
 - ① 災害活動に対する援助
 - ② ボランティア協議会への援助

卒業生の転職・再就職を応援します！

- 1、転職を希望している
- 2、再就職先を探している
- 3、その他

お気軽にご相談ください。賛助企業をご紹介します。

連絡先

名城大学スポーツ・文化後援会事務局

TEL: 052-832-1151 (内線2663・2605)
052-8338-2029 (ダイヤルイン)

税務・企業改善・生活相談コーナーを開設

卒業生会員の皆様へサービスの 일환として『税務・企業改善・生活相談コーナー』を設けましたので、ご利用くださいますようご案内します。

〈税務・企業改善相談担当者〉

高橋 勝也 (かつや) 氏
(税理士)

事務所：高橋会計事務所

〒464-0850

TEL: 052-1732-1556
名古屋市中区今池五丁目28-24

(現在)

高橋会計事務所所長
名城大学経友同窓会相談役
学校法人名城大学評議員

〈税務相談担当者〉

宮崎 晃吉 (てるよし) 氏
(税理士・行政書士)

事務所：〒451-0005

TEL: 052-5251-6069
名古屋市中区上名古屋3-7-15

(現在)

年金記録確認愛知地方第三者委員会委員
名城大学法学部同窓会常任幹事

〈生活相談担当者〉

中村 友美 (ともみ) 氏
(愛知県会議員)

事務所：〒458-0043

TEL: 052-8951-6615
名古屋市中区万場山2-1-023

(現在)

健康福祉委員会

地方分権・道州制調査特別委員会
議員団副団長

日越友好愛知県議員連盟幹事

名城大学経友同窓会常任幹事

「遺贈による寄付制度」のお知らせ

近年の高齢化社会における遺言制度の普及に鑑み、名城大学校友会では「遺贈による寄付制度」を立ち上げております。遺言により財産の一部を母校へ寄付しようという篤志をお持ちの方々の便宜を図りするため、中央三井信託銀行を相談窓口としております。もし母校名城大学への遺贈による寄付を通じて社会に貢献したいという意向をお持ちの方は、是非とも本制度をご利用いただきたくご案内申し上げます。

遺贈による寄付をお考えの方

● 相談申し入れ

● 校友会又は中央三井信託銀行

● 相談受付(中央三井信託銀行)

全国本支店の財産コンサルタント
など専門のスタッフがご相談を受けます。(相談無料)

● 遺言書作成(寄附希望者)

● 遺言書保管(中央三井信託銀行)

(近去的通知)

● 財産に関する遺言執行者としての
任務遂行(中央三井信託銀行)

遺贈 財産分配

● 名城大学相続人・受遺者

お問い合わせは

* 名城大学校友会

名古屋市中区塩金口1-501
TEL: 052-832-2515

* 中央三井信託銀行 名古屋支店

TEL: 052-242-7311

『名城大学稲沢市卒業生の会』活動報告

名城大学稲沢市卒業生の会 会長 川口 明

当会では地域との連携を深めるべく、地域の催しに積極的に参加しています。2009年は左記の行事に参画し、会員相互の親睦をはかったので報告させていただきます。また、近隣の卒業生の会（春日井・他）の総会や各種催しにも参加、いろいろと参考にさせて頂いております。

1、サンドフェスタ2009へ参画

木曽三川公園ワイルドネイチャープラザで開催された「稲沢サンドフェスタ」の砂の造形に参画し、コテ使いに悪戦苦闘しながらなんとか造詣物？を完成させることが出来ました。（参加することに意義があった1日でした）

2、いなざわ梅まつりへの参画

愛知県植木センター長より稲沢市の植木の規模・種類・樹木の紹介などの講義を受けた後、センター内の梅の香りと花を堪能しました。（植木センターには550種2万4千本の樹木があるそうです）

3、第一回 総会のご報告

左記の日時に開催いたしました。
稲沢市在住・在勤で現在非会員の皆様にもご参加頂きました。
日時：平成22年6月19日（土）14時～18時
場所：稲沢市勤労福祉会館



サンドフェスタ2009



いなざわ梅まつり

申込み・問合せ先

川口 明

〒429-8135

稲沢市井之口町大宮前5578番地

TEL・FAX 0587-21-0382

『名城大学小牧市卒業生の会』総会開催報告

名城大学小牧市卒業生の会 会長 西山 武

平成21年7月5日（日）小牧市まなび創造館において名城大学小牧市卒業生の会総会を開催しました。

これには来賓として名城大学校友会から河合紀副会長、名城大学から下山宏学長、板橋一雄理事をはじめ、近隣の春日井市卒業生の会から梶田正勝会長、名城尾北会から安達英昭会長等、多くの方のご臨席を頂き、平成21年度の総会を開催し「平成21年度事業計画及び予算等」の承認を得て終了しました。

引き続き記念講演として名城大学、小牧市、小牧市教育委員会の後援を頂き、農学部小原章裕教授に「食生活よもやま話」～食生活によって生活習慣病を予防しよう～と題して講演いただきました。卒業生及び一般市民の方々30名ほどの方にもご参加いただき大変好評でした。



平成21年度 小牧市卒業生の会 開催

この記念講演は、理工学部教授辰野恭市氏、理工学部名誉教授鈴木徳行氏、人間学部教授安藤喜代美氏、名城大学学長兼松顯氏と続き、5回目となる今回は農学部教授小原章裕氏を迎え、小牧市民の楽しみの一つになりつつあります。終了後は小原教授を囲んで懇親会となり、楽しいひとときを過ごしました。

◎平成22年度小牧市卒業生の会

日時：平成22年9月11日（土）

14時～17時

場所：小牧市市民会館 4階 視聴覚室

◎詳しくは、後日案内状を発送します。

『名城尾北会』第6回総会とセミナーのご案内

名城尾北会 会長 安達 英昭

大山市・江南市・岩倉市・大口町・扶桑町に在住または在勤の名城OBで組織する「名城尾北会」では、地域貢献の一環として、一般市民を対象に「生涯学習支援セミナー」を開催しています。回を重ねるにつれて運営にも慣れてきました。第5回のセミナーの様子は地元新聞で報道されました（写真）。今後も年3～4回開催します。OBの方の講師を募集しています。自分たちが、普段行っていることの発表の場として活用してください。



尾北ホームニュース
平成22年3月13日号

【第6回総会開催予定】

下記のとおり、名城尾北会第7回生涯学習支援セミナー及び第6回総会を開催します。セミナーは、10月に名古屋市中で開催されるCOP10を前に、地球環境問題を取り上げました。お誘い合わせのうえ多数のご出席をお待ちします。

【第7回名城尾北会セミナー】

日時：平成22年9月4日（土）

13時30分（受付） 14時（開始）

演題：「暮らしと地球環境問題を考える」

講師：名城大学人間学部教授水尾衣里先生

参加費等：無料 定員100名、一般市民歓迎

16時～尾北会総会

17時～懇親会（参加費：6000円）

会場：犬山国際観光センター「フロイデ」

犬山市松本町4丁目1番地

TEL 0568-6111000

名鉄犬山線犬山下車東口から徒歩3分

申込み・問合せ先

澤本 平治

〒480-0103

愛知県丹羽郡扶桑町柏森辻田329

TEL 0587-93-0537

FAX 0587-93-0545

【Eメール】info@meijo-bhokukai.com

卒業生の会名	開催日	会場	備考	会長名	住所	TEL
碧南市卒業生の会	22年8月7日(土) 11:00	碧南市 碧南市役所		長田 徳雄	447-0881 碧南市霞浦町3-46	0566-42-1111
春日井市卒業生の会	22年6月27日(日) 12:30	春日井市 春日井市 勤労福祉会館		梶田 正勝	486-0909 春日井市四ツ家町176	0568-32-5249
名城尾北会	22年9月4日(土) 13:30	犬山市 国際観光セン ターフロイデ	尾北会セミナー 同時開催	安達 英昭	484-0081 犬山市犬山東古券345	
小牧市卒業生の会	22年9月11日(土) 14:00	小牧市 小牧市市民会館		西山 武	485-0048 小牧市間々本町325-1	0561-48-0912
稲沢市卒業生の会	22年6月19日(土) 14:00	稲沢市 稲沢市 勤労福祉会館	設立総会	川口 明	492-8153 稲沢市井之口町大宮前5578	0587-21-0382

『名城大学春日井市卒業生の会』 第6回開催ご案内

名城大学春日井市卒業生の会 会長 梶田 正勝

平成22年6月27日(日)春日井市勤労福祉会館にて第7回総会を開催しました。
講演会は名城大学大学院卒の河地清氏から「春日井の危機を救った人々」林金兵衛と福沢諭吉」と題して行われました。明治の初め春日井郡で起こった地租改正反対運動、天皇直訴未発事件、地租未納者が続出する中、村は疲弊し、村財政は破綻の危機：このような状況で指導者林金兵衛と福沢諭吉の運命的な出会いにより、歴史は大きく展開していききました。

このような春日井の歴史に関する有意義な講演会のため、春日井市、春日井市教育委員会の後援を得、一般市民の皆様にも多数参加いただきました。
また懇親会の前には、若い女性による歌と踊りを主にした迫力あるミュージカルを約30分行いました。参加の皆様方には若いエネルギーを戴き、心身共に若返ったのではないかと思います。その後来賓の皆様方を交えた懇親会を開催しました。

平成21年8月29・30日に「越中八尾おはら風の盆前夜祭見学ツアー」を開催。会員の家族を含め、親睦を図りながら「おはら風の盆」を主にした富山県の名所などを見学。また富山県支部との交流も深め、有意義で楽しい旅行になりました。

今年度は平成23年1月22日(土)・23日(日)に「北陸グルメツアー」氷見キトキトの魚と加賀料理(仮称)と題し(定員25名 サロン観光バス利用)親睦旅行を行ないます。皆様方多数のご参加をお願いします。

この他に農場の行事(田植祭、収穫祭等)に参加、ゴルフコンペ、中日ドラゴンズの英智選手を応援する野球観戦の会等の行事を計画しております。

春日井市に在住または勤務されている方、春日井市に何らかの縁がある方々を対象に楽しい会にしていきたいと思っております。

我々卒業生の会は校友会からの援助金が無く(今年より年会費を納入している人の一定割合での還付あり)自前で活動しております。

校友会は「愛知県支部」設立のため、愛知県内各市町村単位で「卒業生の会」を設立指導され、活動されております。新井前会長から林現会長への引き継ぎ事項にも愛知県支部設立の項目もあり、活動方針にもなっております。今年度は校友会の強いリーダーシップの基、愛知県支部設立を期待し、支部として行動したいと思っております。



申込先

梶田 正勝

〒486-0909

春日井市四ツ家町176

TEL 090-4446-2506

FAX 0568-3115119

【Eメール】masakatsu.kajita@mc.cnuw.ne.jp

第8回『名城大学碧南市卒業生の会』 総会開催ご案内

名城大学碧南市卒業生の会 会長 長田 徳雄

名城大学(含む・高等理工科学校・短期大学・大学院)卒業生で、碧南市に在住・勤務・何らかの縁がある方々にご参加頂きたく、第8回『名城大学碧南市卒業生の会』総会を下記により開催します。
多数の皆様のご出席を頂きますようご案内申し上げます。

日時：平成22年8月7日(土)

午前11時

場所：碧南市役所談話室3

(レストランとんがり帽子2階)

連絡先：〒447-0862 碧南市相生町5丁目123番地 岡田 一穂

TEL・FAX 0566-48-6800

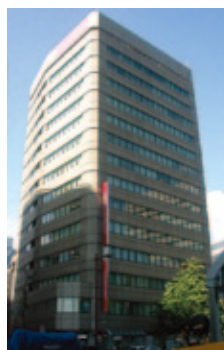
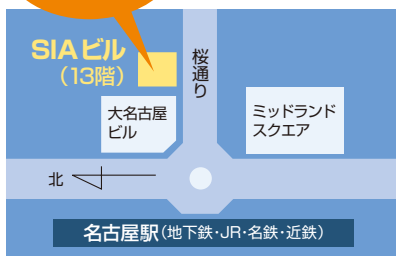
【Eメール】gazoo@kachu.ne.jp

名城大学名駅サテライト

『名城大学名駅サテライト』(略称MSATエムサット)が名古屋駅前SIAビル(13階)に完成しております。名城大学卒業生、名城大学関係者が、会議、行事、公開講座、研究会、研修会、説明会等で使用することができます。

卒業生各位の積極的な活用をお願い申し上げます。

ユニモール地下街
4番出口すぐ



SIAビル

支部だより 2010 Branch News

MEIJO UNIVERSITY

平成21年度開催実績と平成22年度開催予定

(平成22年8月1日現在)※

支部名	平成21年度開催実績		平成22年度開催計画				
	開催日	場 所	開催日時	会 場	記事		
北海道	21 10 10	札幌市	22 10 2 (土) 18:00	札幌市 定山溪グランドホテル瑞苑			
東北	21 7 4	仙台市	22 5 23 (土) 13:00	仙台市 仙台ガーデンパレス			
関東	22 2 11	東京・四谷	23 2 11 (金) 13:30	東京・四谷 主婦会館プラザエフ			
群馬	21 6 14	渋川市	22 6 20 (日) 14:00	渋川市 伊香保温泉 ホテル天坊			
神奈川	22 1 13	横浜市					
新潟	21 11 14	新潟市	22 11 13 (土) 14:00	新潟市 新潟東急イン			
富山	21 9 5	富山市	22 9 4 (土) 14:30	富山市 名鉄トヤマホテル			
石川	21 7 25	金沢市	22 7 31 (土) 14:30	金沢市 金沢都ホテル			
福井	21 11 7	福井市					
山梨	21 9 5	甲府市	22 9 4 (土) 14:00	甲州市 ぶどうの丘			
長野	21 11 21	松本市			40周年記念総会		
岐阜	21 10 24	美濃加茂市	22 9 12 (日) 14:00	岐阜市 ホテルグランヴェール岐阜			
静岡	21 11 14	浜松市	22 11 13 (土) 14:00	浜松市 グランドホテル浜松			
三重	22 3 6	四日市市	23 3 5 (土) 14:00	四日市市 四日市都ホテル			
滋賀							
京都	21 10 4	宮津市	22 11 20 (土) 14:00	京都市 京都タワーホテル	40周年記念総会		
大阪	21 11 14	大阪市	22 11 7 (日) 13:30	大阪市 大阪第一ホテル			
兵庫	21 8 23	淡路市	22 8 22 (日) 10:30	神戸市 シーサイドホテル舞子ビラ神戸			
和歌山	21 9 5	和歌山市					
鳥取	21 11 8	倉吉市	22 10 17 (日) 11:00	鳥取市 温泉旅館丸茂			
島根	22 1 24	松江市					
岡山			22 11 21 (日)	岡山市 ピュアリティまきび			
広島	21 10 12	広島市	22 10 3 (日) 15:00	広島市 ホテル広島ガーデンパレス			
山口	21 5 31	周南市	22 9 5 (日) 11:00	山口市 山口グランドホテル			
徳島	21 8 22	徳島市	22 8 21 (土) 18:00	徳島市 ホテルクレメント徳島			
香川	22 1 23	高松市	22 12 5 (日)				
愛媛	21 9 6	松山市	22 9 5 (日) 11:00	松山市 いよてつ会館			
高知	22 2 27	高知市					
福岡	21 9 27	福岡市	22 9 4 (土) 12:00	柳川市 かんぼの宿『柳川』			
佐賀	21 11 28	佐賀市	22 11 20 (土) 18:00	佐賀市 佐賀フジントホテルプラザ			
長崎	21 12 20	長崎市	23 2 11 (金) 16:00				
熊本	21 8 22	熊本市	22 8 21 (土) 18:00	熊本市 琉球居酒屋家なんくる	40周年記念総会		
大分	21 8 29	大分市	22 8 28 (土) 17:00	大分市 ホテルキャスル OITA			
宮崎	21 11 14	宮崎市			20周年記念総会		
鹿児島	21 9 5	鹿児島市	22 9 4 (土) 17:00	鹿児島市 ホテル タイセイアネックス			
沖縄	21 11 7	那覇市	22 11 13 (土) 18:00	那覇市 沖縄レインボーホテル			
台湾			22 5 1 (土) 18:00	台北市 六福客棧金鳳廳レストラン			

※詳細はホームページをご確認ください。

校友会支部長名簿一覧				
支部長名	〒	住 所	TEL	
古川 晃	069-0813	北海道江別市野幌町62-13	011-382-3268	
野神 修	989-3205	宮城県仙台市青葉区吉成1-8-24	022-278-3119	
山口 勝治	177-0032	東京都練馬区谷原1-13-6 (都民防災設備センター内)	03-3995-6090	
菊池 政一	370-0082	群馬県高崎市北新波町279	027-344-1238	
吉田 幸一	242-0021	神奈川県大和市中央7-9-12	046-263-1398	
高杉弥寿彦	950-0853	新潟県新潟市東区東明3-3-25	025-286-0373	
片境 貢	930-0012	富山県富山市稲荷町3-6-1	076-442-1873	
岩城 将	921-8145	石川県金沢市額谷3-85-1	076-298-7938	
和泉 明	914-0058	福井県敦賀市三島町2-7-24	0770-25-8169	
堀込 秀作	400-0851	山梨県甲府市住吉2-1-7	055-235-3139	
森 治喜	390-1241	長野県松本市新村2247	0263-47-0902	
溝口 敏博	502-0812	岐阜県岐阜市八代3-11-2	058-295-1432	
松下 芳彦	438-0016	静岡県磐田市岩井2043	0538-32-4621	
高臣 岳文	510-0254	三重県鈴鹿市寺家5-13-13	059-387-2390	
井狩 雅弘	528-0049	滋賀県甲賀市水口町貴生川1-153	0748-62-3603	
新谷 嘉郎	627-0131	京都府京丹後市弥栄町和田野579	0772-65-2657	
佐茂 英昭	562-0041	大阪府箕面市桜4-1-18	072-723-0772	
鎌谷 秀男	665-0072	兵庫県宝塚市千種3-8-23	0797-72-1380	
小谷 正	640-1174	和歌山県海南市木津68-3	073-487-2554	
新見 博士	683-0841	鳥取県米子市上後藤4-2-19	0859-29-5766	
横田正四郎	690-0015	島根県松江市上乃木9-21-9	0852-31-2118	
宮原 淳	700-0904	岡山県岡山市北区柳町2-5-26	086-233-3181	
瀬戸升和徳	734-0051	広島県広島市南区東青崎町6-25	082-281-9608	
中村 正信	756-0862	山口県山陽小野田市須恵西3408	0836-88-0382	
田尾 忠雄	779-3242	徳島県名西郡石井町浦庄国実663-4	088-675-0609	
吉川 征男	761-2305	香川県綾歌郡綾川町滝宮751-7	087-876-5113	
吉本 平	799-3710	愛媛県宇和島市吉田町元町575	0895-52-0492	
大野 康彦	781-8125	高知県高知市五台山3024	088-883-7995	
香月泰比古	825-0004	福岡県田川市夏吉597-5	0947-44-5424	
宮田 輝雄	840-0017	佐賀県佐賀市新郷本町20-7	0952-24-1832	
荒田 繁	852-8124	長崎県長崎市辻町4-7	095-845-1887	
津川 康博	862-0905	熊本県熊本市南町28-4	096-369-9383	
佐藤 寛昌	870-0014	大分県大分市芦崎4組	097-532-5838	
宮崎 道公	889-4221	宮崎県えびの市栗下162-3	0984-35-2332	
永岩 忠洋	890-0084	鹿児島県鹿児島市郡元町19-5	099-252-7171	
花城 守男	900-0023	沖縄県那覇市楚辺1-3-17	098-853-0140	
李 世昌	111	台湾 台北市士林區土庫路266巷6弄3-1号4F	886-2-2831-4868	

北海道支部

支部長 古川 晃 (業・業・昭和37年卒)

北の大地(北海道支部)からのひとり言

北海道は総面積8万3456平方キロメートル(北方領土含む)、人口は554万1598人(平成21年12月31日現在)、下段の7ブロック別の人口対会員動態情報を参照しながら、北海道支部の現状を報告します。

道内における校友会活動は、高齢化&人口減社会により組織的な動員力が弱まり、総会・行事開催案内への返信率も極めて悪く、そのため参加する会員は少数、母校に入学する学生の激減(ゼロに等しい)など、北海道支部が抱える構造的な組織低下を今後どのようにして食い止めるか? 起死回生となる対策や解決策のアイデアは浮かばないが、悪循環を招かないように今年1月に北海道支部より創刊号を発行しました。

その目的は、これまで支部総会・行事にごく限られた会員の協力しか望めなかったが、これからは幅広く同窓生が参加してもらえるように、大学行事(スポーツ含む)、校友会行事(本部、道内)、各学部同窓会行事(道内)、身近な最新トピックス:「地域の話題、会員の動向(転入・転出)、褒章情報、お悔やみ情報など」ネットワークを築いて収集した多彩な情報をタイムリよく会員に提供することにより、各地域の動静が隔々まで浸透し、支部だより発行を契機に世代を越えた交流の輪が広がり、会員相互の理解と親睦が図れるコミュニケーションツールとして利用され、これからの支部活動が活性化されることを熱い思いで期待しています。

東北支部

支部長 野神 修 (理・土・昭和37年卒)

杜の都大学女子駅伝の応援を支える

昨年度の東北支部における主な行事を簡潔に纏めると、①第12回東北支部総会開催(7月初旬)、②大学女子駅伝大会(10月下旬)、③支部傘下の各県名城会開催(9月)、④沖縄県支部と交流会(11月中旬)、⑤大学女子駅伝つば大会応援(12月下旬)、⑥宮城県名城会旅行会、ゴルフ会等である。

特に②の女子駅伝応援行事に関しては大会が大崎市から仙台市に移行してから第4回目であるが、東北支部の家族を含めた関係者は第1回目の劇的な優勝を再び夢に見ながら、事前の準備会3回、当日朝の応援来場者の受



ブロック名	ブロック人口	会員数	会員構成比
札幌	2,811,590	298	49.4%
旭川	748,408	71	11.8%
日胆(日高、胆振)	497,983	42	7.0%
函館	480,714	62	10.3%
帯広	353,923	51	8.5%
釧路	337,163	42	7.0%
オホーツク(網走、北見、紋別)	311,817	37	6.1%
合計(その他含む)	5,541,598	603	100.0%



付から道案内、駅伝後の大イベントである校友会懇親会主催など連身の努力の結果、校友会、大学各関係者は勿論のこと、参加関係者から賛辞を頂き身に余る思いであった。④の沖縄県支部との交流会は沖縄県支部の若くかつ多数の女性会員との楽しい交流会が実現できたことに感謝している。

その他支部の特記事項としては若手県名城会大西宣文会(昭和48年度法学部卒)が新潟国体ライフル射撃若手代表として15回連続出場で累積7回目入賞の6位の大成績者がおられる報告を致しておきたい。

関東支部

支部長 山口 勝治 (理・建・昭和44年卒)

情報の共有化に注目

校友会関東支部は会員相互の親睦をはかり、会員の豊かな人生を支援する場を提供すると共に大学の発展に寄与することを目的に大学の経営者(理事や評議員等)、大学の教職員、現役の学生、体育会や各種のOB会等、名城大学の発展・充実を支援するには校友会本部の下に、関東支部会員は同じ方向を向いて協力をし、自分たちに何が出来かを各人が考えて活動・努力する「名城大ファミリー」を目指しています。

そのために関東支部ではEメール(平成21年は59通のメール発信)の掲示板を積極的に使って、情報の公開と情報の共有を大切に心がけ、明るくて、楽しく、公正で、やりがいのある校友会関東支部を目指しています。



②大学女子選抜駅伝(つくば市)での応援

関東支部のトピックス



①竹内さんのりんご園にて

①親睦: さくら観会、社会見学会、忘年会を毎年開催していますが、昨年(平成21年)の社会見学会は松本城と城下町の景観を探索し、りんご園を経営している竹内さん(本学農学卒)のりんごを均一に赤くなるように果実の上の葉っぱの摘み取りのお手伝い(おじゃまかし)をしました。また忘年会では、隣の席に偶然に名城大卒の方がおり、校友会の参加をPRし、親睦の効用を肌で感じました。

②応援: 全学生柔道大会、大学女子駅伝競技会、大学女子選抜駅伝競技会に卒業生として、選手の一生涯懸命な姿、応援団員や吹奏楽部の懸命な姿、清々しいチアリーダーの姿など目標に向かって挑戦している後輩を見て、聞いて、感じて、応援することで共に感動と元気を貰うことができました。

新潟県支部

支部常任幹事 三條 剛義 (理・建・昭和42年卒)

新潟県支部創設の経緯について

新潟県支部は2年後に創設20年目を迎えます。ここまでのように支部創設に至ったか振り返ってみたいと思います。今から20年前に地元新聞に東京所在の大学が新潟県で開催する総会や同窓会の案内記事を読みました。我が名城大学校友会も新潟県支部を創設しようとして校友会本部に創設にあたり尽力して頂きたいとの手紙を送りました。

ある日校友会本部より連絡があり、貴殿と同様に創設したい人が地元にもいますので連絡先を送りますから頑張ってくださいとの内容でした。私は新潟県支部創設に際して、私より3年先輩の方と自宅で行いました。校友会本部から



の新潟県出身者の名簿を頼りに連絡をとるなどして創設に至りました。

新潟県支部の校友会会員は200名位ですが年一回の総会の出席が増えるように願っています。また在学生(地元出身者)と校友会新潟県支部と校友会本部の3者で夏期休暇に総会等を開催してみたいは如何でしょうか。

支部の活動等に役員の皆様と尽力し名城大学校友会と名城大学のこれからの発展に頑張っていきたいと思っておりますので会員の皆様のご出席をお待ちしております。

神奈川県支部

支部長 吉田 幸一（法商・商・昭和44年卒）

神奈川県支部報告

神奈川県支部は本年1月31日（日）支部創立35年を迎え、校友会本部から林校友会会長と大学側から藤田衆入学センター長と友好支部（新潟支部、東北支部、関東支部、群馬県支部、山梨県支部、長野県支部、静岡県支部）の役員の御出席を頂き、あわせ多くの支部会員の参加の下で、35周年記念総会を盛大うちに無事終了することができました。記念総会では3大イベントを行いました。

①支部設立功労者への感謝状授与

加藤隆雄（商学S31年卒）

深澤 一郎様（商学S35年卒）

②林正幸様（理工学部S37年卒）の記念講演

「夢実現、幼児教育と幼稚園経営」

③「寄付行為」に残る記念行事の一環として、横浜市児童養護施設三春学園様に（東芝液晶テレビ一式）を寄贈し、微力ながら地域社会に貢献をさせていただきました。

また、今回は初の試みとして会員各位のご家

族にも参加いただき、ファミリームードの中で記念総会をすることができました。

周知のように我が国の少子高齢化現象は神奈川県支部活動の中にも影響が現れ、会員の高齢化、若者の参加意識の低下そして女性会員の減少など多くの問題を抱えております。

その意味から林正幸様の記念講演における「夢実現、幼児教育と幼稚園経営」は大きな反響がありました。改めて私たちに家庭教育、学校教育、地域社会教育が連携上で「幼児教育（常識・正しいしつけ・自立・体力づくり）」を行うことの重要性を教えてくれた35周年記念総会でした。



長野県支部

支部長 森 治喜（商・昭和50年卒）

名城大学信濃シンポジウムと支部総会

平成21年11月21日松本東急インにて名城大学主催の信濃シンポジウム「自然と共に生きる」が開催されました。テーマに第一部特別講演（有）硫黄岳山荘社長長浦野岳孝氏（ハケ岳観光協会会長）が山小屋の経営者の立場から環境保全等の取り組みについて、第二部は名城大学からの情報発信と題して、大学院総合学術研究科の鈴木教授の「森林浴と人の心と健康に影響を与える森林の効果」共に自然環境に恵まれる長野県に合った興味深い内容の講演でした。

今まで一度も支部総会に出て来れない方の参加や父兄等も多数ありました。当初は参加人数が読めず、大変心配致しましたが多数の参加者を迎え、盛況の内に終了することが出来ました。これもひとえに大学側の支援や、校友会本部、各同窓会、友好支部の多大なる



ご支援、ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

引き続き21年度長野県支部総会が開催され、校友会本部から林会長はじめ本部役員、他関係者、10友好支部の皆様、大学からは大橋理事長、下山学長はじめ多くの皆様のご臨席を賜り盛大に行うことができました。

特に懇親会では、楽しく愉快地酒を酌み交わし、学歌・名城節を歌い盛り上がりしました。初めて参加した支部会員が楽しかったと感激して話してくれました。半年間頑張った甲斐がありました。執行部として協力して頂いた方々に改めて感謝申し上げます。

反省会では長野県支部の問題点等もはっきりしてきました。今後は問題点を精査して長野県支部を活性化させていきたいと思います。



岐阜県海津市議会議長就任
記念植樹「キンモクセイ」
天白キャンパスにて

福井県支部

支部長 和泉 明（理・土・昭和54年卒）

福井県支部も女子駅伝を応援しています！

平成21年11月8日（日）、深秋の福井にはめずらしく快晴の暑い中、FUKUIスーパーレディス駅伝20009が開催されました。

この大会は毎年福井市で開催され、実業団、大学混合の大会です。名城大学女子駅伝部も毎回2チーム参加し、福井県支部会員が集まり熱烈応援しておりますが、ここ2年間は総合5位。この日は前日に開催された福井県支部創立30周年記念総会から宿泊いただいた、下山学長他、友好支部の皆さん、支部会員総勢24名で例年にも増して熱い声援を送りました。

結果は3年連続の5位（大学では佛教大に次ぐ2位）でしたが、6位の立命館大とのデッドヒートにとても熱が入った次第です。今年は全日本大学女子対抗駅伝を征してFUKUIスーパーレディス駅伝に来てほしいものです。



岐阜県支部

支部長 溝口 敏博（法商・商・昭和35年卒）

岐阜県支部のトピックス

◆我が支部より、褒章受章者が2名おられました。

佐竹 武氏 黄綬褒章（平成20年度・西濃分会代議員）

堀 知晴氏 藍綬褒章（平成21年度・西濃分会会長）

共に名誉ある褒章授与に精励した功績は、顕著で支部会員にも喜ばしい朗報となりました。

◆支部企画事業の目玉でもある、名城駅伝・競走大会（男子）

結果は、24位でのゴールとなりました。

皆様方の応援の甲斐もあり、昨年よりも上位での完走となりました。引き続き支部として応援していきます。

◆前海津市議会議長の近藤輝明議員が、6期24年間の議員としての職務を勇退されました。

近藤氏は、名城大学DAYでの校友会物産展に、もうこの出展等をはじめとして支部の活動に積極的に参加していただいております。

◆第45回支部総会（9月12日・日曜日）は、岐阜分会の当番です！
再編成会議後に、引き続き総会を開催予定しております。
総会への多数参加をお待ちしております。

最後に年会費の納入が年々減少しております。会員皆様のご協力を賜わりたく、お願い申し上げます。尚、60歳以上の皆様には、終身会費としてシステムがありますので是非ご利用いただきたいと思いますことを重ねてお願い申し上げます。



山梨県支部

支部長 堀込 秀作 (法商・法・昭和41年卒)

活動報告―ワイン試飲・ぶどう狩り

平成21年9月5日(土)校友会山梨県支部総会を甲州市勝沼町のぶどうの丘にて午後2時より開催しました。

総会の部に来賓として多忙の中、校友会本部より伊庭副会長、大学より新居副学長・平松薬学部准教授をはじめ、近県友好支部の群馬県・長野県・神奈川県・東京都・静岡県支部より支部長・副支部長のご参加をいただき総会を無事終了することができ心よりお礼を申し上げます。

記念講演として薬学部平松准教授による「薬の作用と副作用」と題して講演をしていただきました。

懇親の部では懇親会の前に、ぶどうの丘地下倉庫にて地元ワインメーカーよりワイン試飲会を全員で楽しみ山梨県特産のワインで秋の味覚を味わいました。その後ぶどうの丘の高台より甲府盆地の夜景を見ながら参加者全員で親睦を深めました。2日目は宿泊ホテルより移動、勝沼町内のブドウ園にておいしい巨峰甲斐路等のぶどう狩をし、楽しんできました。

今年も秋にまた実施する予定です。近県友好支部、本部の皆様のご参加をお待ちしております。



富山県支部

支部長 片境 貢 (法商・商・昭和44年卒)

総会報告と主な事業

平成21年度通常総会が、9月5日(土)名鉄トヤマホテルにて、会員41名の出席、林校友会会長・下山学長・友好支部他15名のご来賓のご臨席を賜り、盛大に行われました。

また黄綬褒章を受章された。多田慎一氏(富山県計量協会副会長(薬学部42年卒)・当支部常任相談役・藤沢徹氏(富山県土地家屋調査士会会長(法学部46年卒)・当支部副支部長の両氏に林校友会会長より、その栄誉を讃え表彰状と記念品が贈呈されました。

第2部の講演会は、下山学長より「大学の現況と課題について」学長ビジョンとして①教育力 ②研究力 ③就職力 ④社会力 ⑤資源力の5つのキーワードの具現化に向けたお話を伺いました。

その後懇親会で越中八尾のおわら踊りを見て、交流を深めました。

◎21年度は、日帰り旅行を企画致しました。入善町の沢すぎ散策と宇奈月温泉で温泉に入り昼食会と生ビールで一杯やり親睦を深めました。

◎会員皆様の活躍を総会資料に合わせて紙面でご紹介しています。新聞・雑誌の記事等募集しています。支部長宛にご送付ください。

◎22年度総会には、会員皆様多数のご参加並びにご支援よろしくお願申し上げます。



三重県支部

支部長 高臣 岳文 (法商・商・昭和32年卒)

支部活動にご協力を！

会員の皆様お元気ですか？ 平素は支部活動にご協力いただき有難うございます。

第45回支部総会は、平成22年3月6日(四)日都市部ホテルに於いて会員の皆様、校友会、友好支部、学部同窓会、大学からは、理事長、学長をはじめ多くの先生方を迎え開催しました。

総会に入り、国家学歌斉唱に始まり、物故者追悼(黙祷)、提出した案件は、すべて承認されました。

懇親会は、オープニングセレモニー「二胡の響き」チャン・ビン二胡演奏団の小花鼓(二胡名曲)古来からの名曲メドレーで幕開けし、奏でる音色に酔い、例年通り校友会・大学に関係なく「名城人」として語り合い、学生時代の思い出などを語り酒を酌み交わし「櫻」と絆を確認し、再会を約束し、最後に名城館で締めました。

静岡県支部

支部長 松下 芳彦 (法商・商・昭和44年卒)

静岡県支部活動報告



平成21年度の静岡県支部総会が、来賓27名会員34名の出席のもと開催されました。野田みよ子・水野豊理事の司会により、開会の辞(河田和彦副支部長)、名城大学学歌斉唱と続き、物故者のご冥福を祈り黙祷。その後中山秀治校友会副会長より、富田三代治前静岡県支部長に感謝状と記念品の贈呈。そして松下芳彦静岡県支部長の挨拶、ご来賓を代表して中山秀治校友会副会長、下山宏学長、高臣岳文三重県支部長のご挨拶が続ぎ、またご来賓の紹介、祝電の披露が行われました。

議事につぎましては、支部規約により支部長が議長となり、各議案の報告・説明が進められ平成20年度収支決算報告及び会計監査報告、平成21年度事業計画案及び予算案も共に承認されました。総会は大橋英幸理



春の叙勲で、坂崎正義(商・短 36年卒)氏が旭日双光章(運輸事業功績)を受章されました。おめでとございます。支部として誇りに思っています。

支部の事業は、会員の年会費で運営しています。如何にして魅力ある行事と役員ともども試行錯誤で進めています。中々思うようには理解を得ることができません。どうか支部総会の案内状が届きましたら「出席もしくは都合が悪ければ年会費納入」と故郷の三重県の盛り上げにご協力ください。最後に年一度の祭典に皆様の元氣な姿を拝見したいものです。各位のご健勝とご支援をお願いいたします。

平成23年度支部祭典の案内

テーマは、剛です！

日時：平成23年3月5日(土)
会場：四日市都市部ホテル

四日市市安島1-3-38
TEL 059-3552-4131

事の閉会の辞で終了となり、引続き講演会に移りました。西田幹夫薬学部教授による『病氣とは怖がらず仲良くしよう』をテーマに、目標を持つて生きる人の強さ又、病氣を怖がらず仲良く(骨粗鬆症・前立腺ガン・オシッコ漏れ・乳がん共生しよう、そして新型インフルエンザを例に、予防の大切さを教えていただきました。西田幹夫教授は現在、日本薬学会、日本内分沁学会、日本医療薬学会、日本社会薬学会の会員として活躍されています。

総会・講演会終了後、懇親会が開催されました。鈴木彰二理事の開会挨拶、そして「村屋社中」が地元の伝統文化を披露してオーブン・グセモノを飾りました。来賓を代表して平松徹也法学部同窓会会長のご挨拶、吉田幸一神奈川県支部長の乾杯の首領で会食・歓談が開始され、懇親会も盛り上がりしました。岡村哲治三重県副支部長のリーダーによる名城館、そして最後に佐藤安福理事の一本締め及び開会の挨拶で終了いたしました。中山秀治校友会副会長・下山宏学長をはじめ、大学関係者・友好支部の役員さん・静岡県支部の会員にご出席をいただき、フレンドリーで楽しく盛大な懇親会でした。

総会・懇親会終了後、『浜松モザイクカルチャー世界博2009』の見学会を行いました。見学希望者総勢24名でのナイトツアーとなりました。会場は「人と自然のシンフォニー」をテーマに、25力国の91作品が展示されており、3年毎に開催され、今回初めて日本(浜松市)で開催された記念すべきイベントに静岡県支部総会出席者の一部ではありますが、見学していただける事が出来たこと、支部一同喜んでいました。

翌日は青空の下、河田和彦氏のみかん園にて静岡県支部恒例のみかん狩りとハーベキユーを楽しみ、またの再会を約束し散会しました。

京都支部

支部長 新谷 嘉郎（法商・商・昭和37年卒）

40周年にむけて

京都支部は昭和46年に全国15番目の支部として京都市の東山会館で設立され40年目の節目を迎える年になりました。

決して順風満帆な道程ではありませんでした。

運営に協力していただいたおかげで発展してまいりました。

京都支部は北は丹後地区から南は山城地区と南北に長く遠方のため総会の開催案内を出しても出席数が増えなかつたので、京都府を4ブロックに分け京都市・福知山市・舞鶴市・京丹後市で総会を開きました。

記念総会は

●10周年（昭和55年）都ホテル

●20周年（平成2年）全日空ホテル

●30周年（平成12年）バスカルイン京都

で開催してまいりました。

また京都タワーホテルで開催した15周年（昭和60年）は当時滋賀分会として協力していた滋賀県支部の設立総会と合同で行いました。

40周年を迎えるにあたり大学卒業後家業を継いだり、会社員また転勤で京都に在職の人、自営業といういろいろな出会いがある校友会の存在には京都支部会員約570名の大きな励みと同時に活力です。



ただいつも残念なのは以前会った人に会えなかつたり、若い会員、女性会員の参加が少ないことです。本年度は40周年の記念総会として平成22年11月20日（土）午後2時より京都駅前京都タワーホテル本館において開催いたします。当日は下山学長をはじめ、林校友会長の出席をいただき記念式典を行い、講演会は田原総一郎のサンデープロジェクトでお馴染みの郷原教授を迎えを行います。アトラクションとして田中前支部長の令嬢にお願いしてピアノの演奏会を開催いたします。

多数の出席で盛大に開催したいと思っております。ぜひ御協力をお願いいたします。

今後魅力ある京都支部になるよう、役員一同が一層努力していきますと思っています。

和歌山県支部

支部長 小谷 正（法商・法・昭和43年卒）

支部再生に願いを込めて

和歌山県支部は、昭和47年8月6日に創立しましてから今年で39年目を迎えます。

昨年は、暫く開催していなかった支部総会を平成21年9月5日（土）に和歌山市内の「かんこ六三園」で行ないました。総会の開催通知を530通発送し、156名の会員からお返事をいただきました。お返事の中には、奥様から会員であるご主人様がお亡くなりになったとのお知らせが3通ありました。お悔やみ申し上げます。

当日は、47名の参加申込をいただき、ご高齢の親御さんの介護で大変な中を一時だけヘルパーさんに託して顔を出してくれた方もありました。久方ぶりの御通知にお応えいただいた会員の皆様に心から感謝申し上げます。写真は、支部総会での歓談風景です。

今年も和歌山県支部創立記念日の8月6日前後で支部総会を開催したいと存じますので会員の皆様の御参加をお待ち申し上げております。



大阪支部

支部長 佐茂 英昭（理・電・昭和40年卒）

支部設立40周年に向けて

大阪支部は平成25（2013）年に支部設立40周年を迎えます。

会員の交流の場として毎年秋に定例総会を開催し今年が37回目となりました。

3年後の40周年は大きな節目であり、今からその準備を進めて行きたいと考えております。具体的には、記念式典、記念講演、記念誌「輩・TOMOGARARA」の発行です。会報「輩・TOMOGARARA」は会員の交流の場として隔年ごと発行したいと2代目支部長・野村知男氏（昭和32年法卒・近畿大学元教授、平成22年2月5日死去）が発刊したものです。周年事業では記念特集として10周年、15周年、20周年、30周年と4冊発行。支部の足跡を確実に残していると確信しております。

40周年への課題は、参加会員の確保です。目標100名。その確保には役員の若返りと知恵を絞ったイベントを図ることです。そして、関西ブロック（府県別会員は、滋賀県1009名、大阪府12944名（奈良県3353名含む）、京都571名、和歌山510名、合計33844名（平成21年8月1日現在）の相互協力と連携を密にすると共に、その基盤を確たるものに構築し、母校名城大学に寄与することです。



支部総会には
ぜひご出席を！

今年40周年を迎えるのは、
長野県支部・京都支部・熊本県支部



兵庫支部

支部長 鎌谷 秀男 (理・機・昭和38年卒)

今年の支部総会は
明石海峡大橋のたもとで

兵庫県は、国生み神話の地です。古事記の冒頭にある、イザナキ・イザナミ、二柱の神が、オノゴ島(淡路島の南東の沼島(ぬしま)とも)に降り立って淡路島・四国・九州へと、順次日本列島を生むという神話です。つまり兵庫県は、まさに日本のルーツなのです。



昨年の第44回支部総会は8月にその国生みの神話で最初に生まれた島、淡路島で伊藤康児人間学部長をはじめ54名のご出席をいただき開催できました。そこでルーツとなる伊弉諾神宮の本名孝至氏にご講演していただき大変盛り上がった総会となりました。

今年の第45回総会は、8月22日(日)にJR舞子駅近くの明石海峡大橋越しに淡路島を望む「シーサイドホテル舞子ピラ神戸」にて開催いたします。

そして元検事の郷原信郎教授を招いてご講演していただきます。兵庫県在住の校友会の皆様のご参加をお願いいたします。

このような兵庫支部を、さらにさらに盛り上げていきたいと願っていますので、本部の皆様、他府県支部の皆様よろしくご指導の程お願い申し上げます。

鳥取県支部

支部長 新見 博士 (法商・法・昭和42年卒)

支部活動の活性化に一考を

鳥取県支部は、会員の高齢化と共に平成卒業の若い会員数は激減し、支部総会の参加者もシリ貧状態にあります。

活性化対策を早急に立てる必要があると思います。

そこで、昨年の全国支部長会議に出席した中国五県の支部長が話し合い、各支部とも同じ現状認識にあり、広島県瀬戸升支部長の提案で、支部選出理事を含め支部間の相互交流を図ることから始めようという事になりました。

今年度から積極的な交流がはじまるものと思います。

我が鳥取県支部は鳥根県支部と共に松江レディースハーフマラソン(名城大学女子駅伝部員が出場、常にトップクラスの成績をおさめています)の応援を行っており、この機会を活用して合同支部総会を提案しました。

今後、このことについて具体化できればと考えています。

大学や支部会員の関わっているイベントなど機会を捉えて支部活動の活性化につなげていきたいと考えています。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



広島県支部

支部長 瀬戸 升 和徳 (商・商・昭和45年卒)

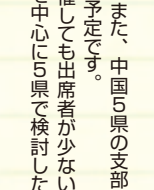
広島県下の近況と支部活動の報告

今年も、広島市役所本庁の玄関前には、「被爆校」が元気づく満開になりました。

広島県も県知事が新しくなり、広島市では2020年ヒロシマ五輪招致問題でJOCや長崎市また県内の市などど活発に議論が行なわれています。県内では、福山市鞆の浦がNHKの大河ドラマ「龍馬伝」で、いろは丸事件や龍馬が立ち寄った場所などで全国版に上っています。アニメ「崖の上のポニョ」でも、鞆の浦の風景を元にして作られたそうです。広島県の経済も少しずつ活発になりつつあり、広島駅周辺の区画整理も順調に進んでいます。観光面でも、県の観光振興策が少しずつ花を咲かせて来たことで、観光客数も増加しています(世界遺産の原爆ドーム・安芸の宮島)。

支部活動としては、去年挨拶回りさせていただいた高等学校で二校の卒業式に出席させていただき、青春時代古く屋で、名城大学に入学したことを思い出し、懐かしうて心が明るくなりました。今年も学校訪問を2回、

6月と10月頃に計画しています。また、中国5県の支部長・理事会を7月初めに行なう予定です。



地方支部では、支部総会を開催しても出席者が少ない事が問題化しており、この内容を中心に5県で検討したいと思っています。

20代・30代の卒業生の皆さん、学歴は自分達の顔でもあります。自分達が卒業した高校・大学を誇りに思ってください。

先輩達も理工学部建築科出身の森畑氏は「社団法人日本建築協会中国支部」支部長、同出身の村重氏は「社団法人日本建築協会中国支部」支部長として、また、薬学部出身の山田氏も、1400年以上続く瀬保神社(広島市では、最も歴史の古い神社)に奉職され、また中国四国厚生局保険指導薬劑科として活躍されています。平成22年度広島県支部総会は10月に開催されますので、皆様お誘い合わせの上、ご出席・ご支援宜しくお願い申し上げます。

鳥根県支部

支部長 横田 正四郎 (商・商・昭和47年卒)

『学問に王道なし』しかし
『松江ハーフマラソンはユニバシアードへの道あり』

紀元前3000年頃にフトレマイオス一世がユークリッドに「幾何学を学ぶのに『原論』よりも近道はないか?」と聞いたところ、彼は「幾何学に王道なし」と答えたと言われている。皆様よくご存知のこと事は、彼の答えのように学問を学ぶには日ごろの地道な努力と忍耐、継続が大事であり、曲がりくねった道を一步一步積み上げていくことであり、近道は簡単には見つからないと私も思う好きな言葉です。

しかし「松江ハーフマラソンはユニバシアード(学生のためのオリンピック)への道あり」→名城大学女子駅伝部は昨年、上位独占を成し、日の丸をつけてユニバシアード大会に参加され、素晴らしい成績を残されました。

ちなみにユニバシアード大会は一年に一度開催。過去にも金メダルを獲得し、名城大学の名声を世界に広めました。先日大会でも昨年に続く、輝かしい成績を修められ、



本場に松江レディースハーフマラソン大会は日ごう母校とのかかわりの少ない名城大学校友会鳥根県支部及び近隣の校友会会員とて年に一度、応援できることの喜び、幸せをもたらしてくれる春の香りであり、弥生月であります。この松江レディースハーフマラソン大会並日に併せて「鳥根県支部総会開催」とする日程を検討しています。

余談ですが、このフトレマイオス一世は紀元前3000年頃に世界中の文献を収集することを目的としてアレクサンドリア図書館を建て、古代最大にして最高の図書館とも、最古の学術の殿堂とも云われ、図書館には世界各地から優秀な学者が集まりました。一大学術機関としても知られ、薬草園も併設されていました。この薬草園に関して言えば、わが名城大学の『名城大学広報』にもつい最近まで薬学部の先生による薬草についての興味深いコラムがありました。商学部卒業の私にとって楽しみです。

山口県支部

支部長 中村 正信（理・建・昭和41年卒）

山口県支部報告 龍馬伝にゆかりの地

大河ドラマ「龍馬伝」では、日本の将来を憂いた地方出身の志士達の生き様が描かれています。その舞台の一つに長州藩（山口県）があり、高杉晋作をはじめ多くの人材を輩出しています。そして当支部の会員も少数ではありますが、地方議員、経営者、専門職組織のリーダー等々として活躍しています。

当支部としては、既存会員の高齢化、入学者数の減少や地元での就職難等の影響をうけ新規入会者不足が進み組織力の低下に悩まされています。最低限の支部活動として年一回の総会（9月頃開催予定）、二回の役員会や七ブロックに分割した懇親会の開催を推進しています。現状は思ったほどの成果がでないが実情です。

未来志向の明るいニュースとしては、昨年の名古屋での支部長会、理事会に出席した中国地方5県7名が、単支部で抱えている悩みを地方の問題と



してとらえて、解決策を見出そうと、10月31日「広島集い」を開催、6月中には第二回の意見交換会を考えています。

世の中はデジタル化・IT化し、飛躍に増大した情報量の処理に日々追われ「人」と「人」との付き合い方（コミュニケーション能力）を見失っている様な感があります。IT化の進化進展は今後ともその重要性は増大すると考えられます。

校友会活動の原点は「同窓会の絆づくり」であると考えています。人同士の「おもいやり」、「やさしさ」、「めくもり」が実感できる集いの場を提供し、交流を深める事が大切と考えています。アタラクシ的な人間としては、その「交流の場での必要不可欠のツール」は「飲み会（ケーション）」と考え、積極的に取り入れています。

愛媛県支部

支部理事 篠原 茂樹（法・法・昭和47年卒）

三三同窓会

友好支部の総会に本年度2箇所参加しました。

吉本支部長が徳島県支部へ私が三重県支部へ勉強に行きました。両県とも会員の皆様が友好的で楽しい時間を過ごす事ができました。

三重県支部でちよつと楽しい出来事がありましたのでお話しします。

支部長の高臣さんの計らいで、私の入学した時の法学部の同窓生三名を三重県内から探していただき、その会場で三三同窓会を開催していただきました。

顔がなんとなく分かるようでないまま挨拶を交わしました。話をしていくうちに気分も大学生にもどり天白校舎での懐かしい話で盛り上がりました。

大変好きな企画を演出していただき三重県支部の皆様感謝しております。

わが愛媛県支部も他県の校友にも声をかけ少しでも校友の輪を広げたいと感じております。

そんな時、香川県と愛媛県との支部長の話し合いで相互訪問の話がまとまりました。これからが楽しみです。四国での交流を考えた企画を計画したいと思っています。



高知県支部

支部長 大野 康彦（農・農・昭和61年卒）

第35回高知県支部総会開催される

平成22年2月27日（土）、中根キャリアセンタ―長、林校友会会長をお迎えして、第35回高知県支部総会を高知市内の高知会館にて開催いたしました。

当日は年度末を控えた忙しい時期にもかかわらず、大勢の会員の皆様に出席をいただくことができたほか、はじめて支部総会に出席された方が複数おられるなど、会員のつながりの輪が一層広がりました。総会終了後の懇親会では、校旗、校友会旗のもと、大学、校友会の今昔話のほか自己紹介を肴に大いに盛り上がり、最後は名城館にて締めくくりました。

現在、高知県では平成23年1月10日まで、『土佐・龍馬であい博』の観光イベントが開催されています。

皆様におかれましては、ぜひとも『龍馬伝』の舞台である高知県にお越しいただき、土佐の高知を満喫していただきたいと思います。



徳島県支部

支部長 田尾 忠雄（商・商・昭和45年卒）

支部長就任にあたって

平成21年8月に開催されました徳島県支部創立三十周年記念総会の席で支部長に選任されました田尾でございます。

母校名城大学も名実共に充実・発展している様子で大変嬉しく思っています。

徳島県支部の活動としては、私が引き継いでからは、今のところ何もできていません。まずは支部総会をどのようにしたらよいか、先輩諸氏及び若手会員から知恵を授けながら頑張ってみたいと思っています。

また昨年の総会でも話が出ました名城大学連としての阿波踊りへの参加については、現在大学に在籍している学生が中心になって『連』を立ち上げるのが理想と思われまので、その橋渡しができないだろうかとも考えています。

これが実現できれば支部活動の活性化はもう半分のこと、大学のPRにもつながり、その効果は非常に大きいと思われま。

これからは、今まで以上に各方面からの情報収集に努め、母校のため、支部のために少しでも役に立ちたいと考えています。



熊本県支部

支部長 津川 康博（農・農・昭和48年卒）

支部活動報告

熊本県支部は本年40周年を迎えることとなりました。

私も昭和48年農学部を卒業し、それ以来参加を続けましたが私自身、今年還暦を迎える事となり、つくづく支部の歴史を感じるところであります。

昨年より40周年を迎えるにあたり、如何にして同窓生により多く参加して頂けるかが役員会でメインテーマでした。

今年の年賀状には全会員に総会写真を載せ40周年に向けて是非参加して頂くよう呼びかけました。数名の会員の方からお礼の年賀状が届き、今年の参加動員の一助となるものと考えております。

また40周年の記念講演について昨年叙勲を受けられました昭和35年薬学部卒の先輩である坂梨孝男氏が快諾して頂き、実りある総会を行いたいと役員一同心待ちにしております。

近県の校友会役員の方にも参加して頂き、さらなる交流を深めていき名城大学校友会が発展する事を祈念いたします。



佐賀県支部

支部長 宮田 輝雄（理・建・昭和38年卒）

平成21年度支部総会、佐賀青春寮歌祭報告

平成21年11月28日（第4土曜日）佐賀市交流センター（佐賀市白山2-7-1エスフラットビル3階）に於いて、午後1時より第17回佐賀青春寮歌祭に出場しました。

壇上には池田副学長、中学校校友会副会長、近県より友情支援、毎高校校友会より応援団の支援を頂き、校歌、名城節を披露しました。

地元からの出席者が少ないのはなぜだろう！近県支部よりの友情支援してもらっている人達に申し訳なくて、今後は考えなければいけない問題点です。

名城節を披露する時にテープの調子が悪くなったので、テープなしで皆、声高々に名城節を歌い披露しました。

午後6時より、佐賀ワシントンホテルプラザ1階（銀座8丁）に於いて支部総会と懇親会を行いました。地元13名、友



福岡県支部

支部長 香月 泰比古（商・商・昭和46年卒）

支部の現状と母校創立者

福岡県支部は県内を4ブロックに分けてそれぞれに副支部長を配置して、毎年総会を持ち回り開催しております。来年度は筑後地区（大牟田・久留米・柳川地区）の担当です。今回私たちは名城大学の創立者である田中寿一公の生誕の地である福岡県柳川市で総会を開催いたします。水郷柳川は立花藩12万石の城下町で詩人北原白秋の生誕地でもあります。北原白秋は田中寿一公よりも1つ年上で地元伝習館中学、今の伝習館高校の同じ屋根の下で学んだ先輩でした。

田中寿一公は1886年10月5日（明治19年）福岡県柳川市で誕生され、地元伝習館中学を卒業し1907年（明治40年）福岡高等工業学校（現在の東京工業大学）を首席で卒業し、我々の母校名城大学を創立された方です。師は1960年11月11日（昭和35年）名古屋大学医学部附属病院（名古屋市中区鶴舞町65）にて74歳で永眠されました。今はご子息の卓郎氏（平成4年1月11日没）と共に名城大学の見下ろせる名古屋市立八事霊園で静かに眠りになっているとのことでした。



全国の校友会の皆さん北原白秋（1885年生まれ）、田中寿一（1886年生まれ）同じ伝習館中学の同窓生、詩人北原白秋の記念碑はすでに建立されています。我々名城大学の恩人創立者田中寿一公の記念碑はまだありません。実現に向かって頑張ります。

努力合掌

宮崎県支部

支部長 宮崎 道公（薬・薬・昭和34年卒）

宮崎県支部20周年の点描

スポーツランド宮崎として12月の青島太平洋マラソンや各地でのマラソン大会、プロ野球のキャンプ、加えてプロサッカーのキャンプ地として各地からの見物客が宮崎を訪れるようになり、以前のようにな南国宮崎を巡る新婚旅行の観光地は、時代の流れとともに変わってきたようです。

そのような中、宮崎県支部校友会も今年で20周年を迎え、時の移ろいを感じながらも198名の県内出身の卒業生を出し、県内外の多方面で活躍されておられる方もいらっしゃる。

今年で20周年を迎えるにあたりもう一度あの青春の時を再現するとともに支部会員の強い絆と会員相互の親睦のため平成22年11月13日（土）宮崎レマンホテルにて宮崎県支部20周年総会を開催します。



そこで各地から名古屋に上がったあの青春の時の思い出をエッセイとして募集します。他県出身者も歓迎です。また宮崎に新婚旅行でこられた時のお写真や思い出の記録などもお待ちしております。発表は平成22年11月13日（土）の第20回宮崎県支部総会にて行われます。応募者多数の場合は厳正なる審査の上発表いたしますのでご期待ください。

長崎県支部

支部長 荒田 繁（法商・商・昭和44年卒）

長崎県支部だより

平成21年12月20日（日）16時より長崎市内の公立学校共済組合長崎宿泊所、ホテルセントヒル長崎にて支部創立40周年記念総会・講演会を大学本部より山下宏学長・武藤正美秘書室長と校友会より林豊史副会長・伊庭克英副会長にご出席をいただき開催いたしました。

総会において新しい規約と新役員を決定しました。講演会においては、昭和39年理工学部卒業の伊達徹也氏に「龍馬と長崎」のテーマで講話をしていただきました。

特に本年はNHK大河ドラマ「龍馬伝」で長崎も舞台となります。また、伊達氏は長崎市の「さくらガイド」もなされており、日頃より活躍をしておられます。

なお、昭和46年商学部卒業松田正氏長崎県議会議員が自由民主党長崎県連幹事に平成22年4月18日の定期大会で選任されました。



法学部 同窓会 だより

同窓会行事に参加を



法学部同窓会会長
高橋 祐次
(法・法・S42年卒)

この度、法学部同窓会長に選出されました昭和42年3月卒業(第15回生)の高橋と申します。

これから会員皆様方のご支援・ご協力を得まして、同窓会の発展のために役員共々一丸となって力を合わせて精進してまいります。顧みますと、私が入学した昭和38年当時と比べると想像出来ないほど、名城大学は著しい発展と成長を遂げています。是非、今日の母校名城大学を自分の目で確認してはいかがでしょうか。

さらに同窓会を一段と発展させるために、英知を絞るいろいろな行事を企画して、一人でも多くの会員が参加され、より良い会員相互の意思疎通を図ってまいりたい所存です。また、平成24年に法学部同窓会創立60周年記念事業を企画しています。記念事業の実現に向けて努力してまいりますので、ご協力を心からお願い申し上げます。

同窓会役員会名簿

(任期・平成22年5月～平成24年4月30日)

役職	氏名	卒業回
会長	高橋 祐次	15
副会長	宮崎 晃吉	院
副会長	生田 好三	22
副会長	藤田 和敏	25
副会長	河合 照和	29
事務長	中山 秀治	25
書記	大竹 純平	51
監査	西川 直樹	43
監査	福原 孝夫	6
監査	今井 誠	22
常任幹事	丹羽 久男	6
常任幹事	大塚 隆志	院
常任幹事	天野 正晴	15
常任幹事	山田 弥一	16
常任幹事	山田 眞吾	16
常任幹事	石神 栄蔵	17
常任幹事	清水 正春	18
常任幹事	森 克己	18
常任幹事	清水 久春	20
常任幹事	浅井 隆	21
常任幹事	中島 健	22
常任幹事	山田 良成	22
常任幹事	大島 富雄	26
常任幹事	松岡 茂樹	33
常任幹事	浅岡 孝夫	34
常任幹事	青山 和順	35
常任幹事	犬飼 斉	36
常任幹事	白川 一成	36
常任幹事	宮川 康樹	41
常任幹事	伊川 正樹	44
常任幹事	西川 恵介	46
常任幹事	田中 裕介	48
常任幹事	樋口 義博	49
顧問	平松 徹也	18
評議員	鈴木 彰二	17
評議員	尾原 徳和	18
評議員	杉本 敏郎	20

イベント企画

平成22年度 ◆ 法学部同窓会総会 (岐阜総会)

日時 平成22年10月2日(土)～3日(日) 13:00～(12:30～受付)

場所 名城大学天白キャンパス
共通講義棟 北 N105 講義室

総会または講演会のみ
参加も可能です！

次第 【総会】2日(土)13:00～14:00
【講演会】2日(土)14:00～15:00
講師：法学部の教員を予定

※15時頃バスに乗車

【懇親会】2日(土)19:00～
飛騨高山温泉「高山グリーンホテル・本館」
岐阜県高山市西之一色町2-180 TEL. 0577-33-5500

【観光】3日(日)
高山朝市、白川郷、五箇山・菅沼地区などを散策します
※名古屋着 17時30分頃の予定

参加費 15,000円(当日徴収) ※卒後5年以内の方は10,000円

申込方法 校友会報同封のハガキでお申し込みください。(9月15日必着)



皆さん 旧交を深め、
名城大学を盛り上げようではありませんか!!

平成22年度 法学部同窓会事業計画

基本方針

法学部同窓会は、会員相互の親睦と協力を基礎として、学術研究等の奨励とその普及を図り、もって名城大学の発展に寄与することを目的とし、この目的達成のため、クラス会開催の援助・准会員に対する支援・名城大学法学部との連携・情報の提供を積極的に行い、さらに活気ある活動を推進していく。

今年度は、基本方針の目的達成のため下記行事に積極的に取り組み、活性化を図り、より充実発展を目指した活動を推進します。

- 幹事会の開催（4月）
- 法学部懇談会総会への出席（会長・4月）
- 校友会定例理事会への参加（常任理事・7月）
- 名城大学 Dayへの参加及び協力（9月）
- 総会の開催（岐阜県総会・9月）
- 教職員並びに歴代会長、顧問及び役員との懇談会の実施（1月）
- 卒業式への参加（3月）
- 卒業祝賀会への参加および卒業生への記念品等の贈呈（3月）
- 役員会の開催（随時）
- 学術研究及びスポーツ功労者等への支援（随時）
- 周年事業開催のための準備金の積立
- 同窓会60周年記念事業の取り組み
- 教員・在学生・卒業生・役員との四者懇談の実施（随時）
- ホームページの充実（随時）
- クラス会の援助（随時）
- 組織の充実（随時）
- 教員との連携（随時）

最新の情報及びご意見、ご要望はこちらへ

法学部同窓会 HP

<http://meijo-hougakubudousoukai.com/>



平成21年度 三重総会 懇親会（旅情館 紫光にて）

法学部人事

退職（平成22年3月31日付）

梶谷 素久 教授（法学科）

横田 直和 教授（法学科）

永戸 力 准教授（法学科）

退職（平成21年9月30日付）

松下 祐樹 准教授（応用実務法学科）

採用（平成22年4月1日付）

加藤 克佳 教授（法学科）

高松 淳也 助教（法学科）

浅木 慎一 教授（応用実務法学科）

柳沢 雄二 助教（応用実務法学科）

経友同窓会 だより

会員の皆様へ



経友同窓会長
禾本 満
(商・商・S46年卒)

会員の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

また日頃は同窓会活動に対して、ご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。
我々経友同窓会は、今後とも会員の皆様の親睦・交流を計りつつ、経営・経済学部の学生への支援をすすめる為に、大学・教職員との連携を深めて参りたいと考えておりますので、なお一層の御協力と御支援を賜わります様お願い申し上げます。

さて今年度につきましても何人かの常任幹事、卒年幹事を新しく迎えて同窓会活動をすすめていきたいと考えておりますが、従来の活動の「会

員相互の親睦・交流会」「支部総会・会計人会への参加」「名城大学Dayへの参加・協力」「準会員への支援」「大学院経営学研究科・経済学研究科との協力による名城経営・経済セミナーの開講」等々、同窓会としての活動を広げていきたいと考えております。
一昨年のアメリカにおけるサブプライム問題から端を発したリーマンショックから日本の経済状況はなかなか立ち直る気配が出て参りません。その状況下で大学を取り巻く環境は厳しいものがあると思われまます。我々卒業生としては名城大学の発展の為にあらゆる面で協力をしステークホルダーの一翼を担う為の活動と組織作りをすすめていく事が、経友同窓会の存在意義を示すものと確信しております。その様な意味でも今後とも会員の皆様の一層のご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。私共の挨拶といたします。ありがとうございます。

平成22年度活動計画

1 卒年幹事の見直し

2 会員相互のコミュニケーション

- * 幹事会(5月)・新年会(1月)
- * 会員間親睦交流(秋季親睦会)
- * 会計人会等との連携協力(学術交流)
- * 情報の提供(大学・会・会員等の動向)
- * 会員の職域別活躍状況の把握
- * 支部総会等への参加・支援
- * クラス会・ゼミ会開催の推進
- * 名城大学Day参加キャンペーン(9月)
- * 卒業30周年ホームカミングDayへの協力(11月)

3 準会員への援助

- * 奨学金の給付
- * スポーツ・文化・学術優秀団体等への支援
- * 卒業祝賀会への支援(卒業生への記念品贈呈)

4 卒業生評議員との意見交換(随時)

5 経営学部・経済学部との連携強化

- * 大学院経営・経済学研究科との相互協力による「経営・経済セミナー」の開講
- * 学部長・学科長・協議員・事務長との懇談(6月)
- * 学部行事(実務面講習会等)への支援

6 ホームページの充実

7 各種委員会の活用による会活性化の推進

- * 事業委員会、青年部会

8 その他

平成22年度 経友同窓会 秋季親睦会「京都パワースポットツアー」のお知らせ

11月6日(土) 日帰りバスツアー *参加費 6,000円(予定)

*詳細につきましては、追って、経友同窓会ホームページでお知らせします。

*問い合わせ先 052-832-1151(代) 名城大学学務センター 大脇 肇

経友同窓会ホームページアドレス

<http://www.meijo-ob.com/keiyu-ob/>

名城大学経友同窓会奨学金交付

経友同窓会では、経営学部及び経済学部の学生(準会員)に対し学資の援助をすることにより、有能な人材を養成し、社会の健全な発展と教育の向上に資することを目的として、奨学制度を設けました。このたび、第1号として、経営学部2年 多賀一平さんに森川経営学部長同席のもと、禾本同窓会長から奨学金が交付されました。



同窓会役員名簿

(任期・平成22年4月1日)

役職	氏名	卒業回
会長	禾本 満	S46年
副会長	高橋 光好	S45年
副会長	鈴木 武夫	S54年
副会長	大脇 肇	S54年
副会長	近藤 哲生	S59年
副会長	森 幸治	H8年
書記	藤井 徹	H17年
書記	才木 亮嗣	H17年
書記	木下 裕康	H14年
会計	角田 哲也	H18年
会計	青木 京子	S43年
常任幹事	中井 剛	S45年
常任幹事	加藤 浩一	S53年
常任幹事	阪納 正通	S54年
常任幹事	中村 友美	S55年
常任幹事	三浦 亙	S56年
常任幹事	岩本 崇宏	H7年
常任幹事	高嶋 泰道	H17年
常任幹事	高橋 茂	H18年
常任幹事	池田 哲也	H18年
常任幹事	舟橋 義隆	H19年
監査	阪納 康之	S61年
監査	武藤 正美	S62年

平成22年度 名城経営・経済セミナー開講

名城大学経友同窓会では、校友会の後援、大学院経営学研究科・大学院経済学研究科の協賛を得て標記セミナーを平成21年度に開講いたしました。

これは、卒業生の方々が現在、また近い将来において必要になるだろうと思われる情報・知識等々を得ていただきたく、現在最も興味のある内容を用意して計8回にわたり開講したものです。

平成21年度開講内容

- 第1回 6月10日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学大学院経営学研究科 大西幹弘教授
演題：不況下の株高2009：Financial Super Coupling から Real De-Coupling へ…
- 第2回 6月24日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学会計人会会長 小野内宣行会長
演題：「この経済危機に勝ち残るための経営とは」
- 第3回 7月8日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学大学院経営学研究科 谷江武士教授
演題：「キャッシュ・フロー会計の現在」
- 第4回 7月22日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学会計人会 森島章博副会長
演題：「景気対策のための税制改正をどう生かすか」
- 第5回 10月21日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学大学院経営学研究科 伊藤賢次教授
演題：「経営戦略への招待」企業経営成功の基本メカニズム」
- 第6回 11月18日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学会計人会 阿部芳巳副会長
演題：「不況下の役員給与対策」
- 第7回 12月16日(水) 18時30分 MSA T
講師：名城大学大学院経済学研究科 大庭司教授
演題：「サブプライム危機とは何であったか？」
- 第8回 1月23日(土) 17時00分 MSA T
講師：名城大学経友同窓会 一柳 鐸相談役
演題：「私の履歴」



一柳 鐸相談役講演会

第8回のセミナーには経友同窓会会員をはじめ、大学院教授、教職員、他学部卒業生、校友会役員・近県支部長、一般を含めて60名を超える聴講者を集め、盛会のうちに終えることができ、セミナー後には「経友同窓会卒年幹事新年会」が開催され、講師を囲んで和やかに歓談しました。経友同窓会では両研究科との連携をもつて平成22年度も継続して次のとおり開催してまいります。前期は6月23日(水)、7月28日(水)に開催しましたが、後期は次の日程で開催します。講師・演題につきましては決まり次第、経友同窓会ホームページでお知らせします。

後期日程

- 1、開催日時・講師・演題：
第11回 平成22年10月27日(水) 18時30分
講師：名城大学大学院経済学研究科
杉本大三 准教授
演題：「インドにおける農業の現状と農業政策の変化」
- 第12回 平成22年11月24日(水) 18時30分
- 2、場所：名城大学名駅サテライト(MSA T)
- 3、セミナースケジュール：
(1)講演(質疑応答を含む) 18時30分～20時00分
(2)講師を囲んでの交流会 20時00分～21時20分
- 4、会費：一、〇〇〇円(交流会参加費を含む)
- 5、申込先：名城大学学務センター 大脇 肇
TEL (052)838-2022
FAX (052)833-5240
Eメール owaki@ccnails.meijo-u.ac.jp

※交流会準備の都合上、各開講日の一週間前までに、電話・ファクス・メールにてお申し込みください。すよつ、よろしく願いたします。

【報告】

理工学部と理工同窓会 第5回 情報交換会



去る4月22日、タワー75の会議室にて、今後の理工学部と理工同窓会とが関係を深め、協力して理工学部ならびに同窓会組織の発展を図るための「情報交換会」が行われました。すでに5回目となる交換会で、毎回活発な意見交換が交わされますが、社会情勢を反映して、今回は卒業生の就職活動支援についての議論が集中的に行われました。

ご出席された方々は、理工学部からは安藤理工学部長や吉久協議員をはじめ、各学科長や横森就職委員長及び事務長です。理工同窓会からは、清水同窓会長のほか、各科同窓会長と役員が出席しました。

卒業生の就職活動に対する 協力と支援について

就職委員会から提案

【安藤学部長】同窓会の皆さまは後輩への想いが強く、自発的な動きから就職支援をしてくださることは大変有り難く、深く感謝しております。同窓会主催の就職説明会も、今後も続けて頂きたいと思っています。就職率などの傾向につきましては、各学科により相違はありますが、いずれも大変厳しい状況で、各学科とも例年に比べ内定者が少ない状況です。

【岩崎】経済情勢が厳しい時代でしたので、OB企業も採用枠が少なく、学生は苦勞したことと思います。同窓会としても積極的な支援をしたいのですが、説明会への参加者も減り、なかなか効果が得られません。その改善策として、就職委員会より提案を頂きました。

【横森就職委員長】近年では、学生の情報収集法が乏しく、きめ細かい情報提供が必要だと感じています。つきましては、理工同窓会の協力による理工学部学生の就職活動支援について、以下を改善・新規提案し、情報の有効活用を図ります。

(1) OB企業の学科(または研究室)へのルート活動については、通常の個別対応と同様の取り扱いとして、2つのルートを設けます。

●ルート1: OBまたは理工同窓会↓学科就職委員↓必要があればキャリアセンターに連絡(必要な場合は関連学科へ連絡し、複数学科にまたがる場合は担当学科を決める)

●ルート2: OBまたは理工同窓会↓研究室教員↓必要があれば学科就職委員↓必要があればキャリアセンターに連絡
従来に比べ、「キャリアセンターへの連絡」を追加することにより、より多くの学生に求人情報を発信していきます。

(2) 平成22年度用 理工学部同窓会支援企業紹介一覧表を追加・訂正して、更新します。
ルート: 理工同窓会からの提案↓就職委員会↓キャリアセンター↓就職委員会↓学生提示

(3) 新たな提案事項として、理工同窓会からの企業OBリストを作成。就職委員会が受領して、キャリアセンター経由の理工学部就職委員会(キャリアセンター保管)に提示し、各学科キャリアセンターで活用します。

(4) OB企業によるインターンシップの実施については、基本的には個別企業からの依頼が中心と思われるので、キャリアセンター(インターンシップ担当)↓理工学部就職委員会↓学科就職委員+教務委員の流れで実施します。学科によってはインターンシップを単位認定している学科もありますので、OB企業の積極的な支援を期待します。

上記の提案事項は、修正などをしながら毎年定款的に実施されるように理工学部就職委員会と理工同窓会で協力していきたいと思っています。

—— 昨今の就職支援事情

【清水会長】懸念されるのは、キャリアセンタ―に情報を提供した場合、情報を提示するだけになるのでは？という事です。情報提示だけでなく、原点に還り、各学科の先生が就活生とより深い接点を持って、就職指導にあたってほしいと思いますし、また同窓会とも連携を深め、より多くの学生を支援できたらと考えます。

【高橋学科長】確かに、理工学部は、伝統的に、OBは直接研究室や教員に情報を持ってきたり、個々の繋がりで就職支援をしてきたという流れがありました。ところが、学内では、そうした求人情報をより多くの学生と共有しようという考えがあり、キャリアセンターの積極的な活用が求められています。ただ、学生数に対し、キャリアセンターの職員数は圧倒的に不足していますから、力が及ばないこともあるかもしれません。

【梶田】その分、学科の先生方が同窓会との関係を深く保つ必要がありますね。また、理工学部には優れた先生が揃っております。そのような先生方から学んだ学生を大学に残したい。理工学部OBの教職員育成と増員・採用については、どのようにお考えですか？

【安藤学部長】材料や交通では、教員の採用率は高いと思います。ちなみに材料では現在16名の教員のうち、7名が卒業生です。本学としても、卒業生、女性、外国人、を積極的に採用するように意識しています。しかし、教員になるためにはドクター取得が条件であり、その上、ある程度の教育年数も必要ですから、学科の特異性によって、採用が難しくなる学科もあります。さらに今は企業でも論文博士の取得支援をしてくれるところは少なくなっているのも実情で

す。しかし、学生の立場を考えると、OBであつてもなくても、名城大に愛着を持ち、懇切丁寧な指導が出来る人材であるかが大事なのではないかと考えています。

—— 学生の就職意識の低下

【岩崎】学生自体が就職をどのように考えているのかと、懸念することもあります。

【原田学科長】おっしゃる通り、少しのんびりしている学生は多いです。同じ会社の説明会に友達同士、集団で行つてみたり、社会情勢に疎く、数年前の情報のままに行動してたり……。このような時代ですから、より真剣に考え、より迅速に動くことが大事なのですが……。ですから、早い時期から自分の進路について夢を持って考えられるような機会を設けたいです。

【梶田】約束を守らないなど、社会人として必要な最低限のモラルに欠けた学生も気になります。

【田中学科長】まだまだ学生気分で、社会人としてのイメージが確立されていないようです。単にSEになりたいと言つていても、そのためには、商談をまとめる能力など必要であるという意識は低く、社会人になつたら、どこに行つて何をするか具体的にイメージできていません。そのためにも、説明会などでは、OBから現場の声を聞かせてもらいたいです。

【清水会長】他大学では、卒業したOBへの就職支援も手厚く行つているところもあります。つまり、リストラや転職などのフォローを行っています。本校も、名城大OBなら、生涯就職支援してもらえる環境を整えたいですね。

【安藤学部長】わかりました。ご意見ありがとうございます。

【岩崎】本日、出席している同窓会役員は、安藤学部長をはじめ各学科の先生方とこのような交流を持たせてもらい、大変光栄で、さまざまな意見交換によつて、理解を深めることが出来ています。しかし、理工OBは現在5万6000人がおり、その方々と

も何らかの形で交流を進めたいと希望しています。それについての手段や方法がありましたら、次の機会にもご提案いただけたら幸いです。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。



Dr. Yoonhee Park is an Assistant Professor at the Department of Health, Behavior, and Society, Johns Hopkins University. She is also a senior research advisor at the Center for Communications Programs, Johns Hopkins University. Her research interests include adolescent reproductive health, maternal and child health, and adolescent pregnancy. She has been involved in several large-scale research projects, including the Adolescent Pregnancy Prevention Program in South Africa and the Adolescent Pregnancy Prevention Program in India. She has published numerous articles in peer-reviewed journals and has been a frequent speaker at international conferences. She is currently leading a research project on adolescent pregnancy prevention in South Africa.

私は平成12年4月に名城大学理工学部材料機能工学科の第一期生として入学し、学部の4年間、修士課程の2年間、博士課程の3年間を名城大学で過ごしました。平成21年4月からは出身学科である理工学部材料機能工学科の教員となり、今年2年目を迎えましたので、学生時代を合わせますと名城大学生生活11年になります。10年以上の時間を名城大学で過ごすことになるうとは入学当初思ってもいませんでした。が、今回、教員として母校の後輩指導に携わるチャンスを与えられたことに感謝すると共に気が引き締まる思いです。

材料機能工学科第1期生(ソフトボール大会集合写真)

さて、私の近況を少しご報告させて
いただきますと、教育が仕事の大半を
占め、これに研究と雑務が加わった日々
です。大学に限らず、いずれの企業で
も忙しいことは当然のことなのでしょう
が、卒業研究で研究の楽しさに目覚め

平成18年4月 COE プログラム “ナノファクトリー” 研究奨励員 (平成21年3月まで)

平成21年4月 理工学部材料機能工学科助手 (現在に至る)

最後になりましたが、卒業生の皆様には、母校名城大学、並びに、後輩を守り立てていただくべく、ご指導、ご支援をお願いする次第です。私も、その橋渡しとなるよう努力して参る所存であります。今後ともよろしくお願いいたします。

大学半世紀一言

理工学部電気工学科 37年卒 米澤 彰賢



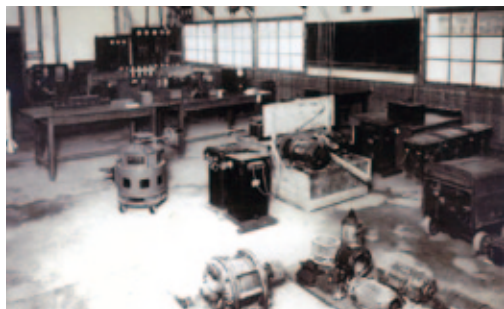
駒方校舎 講堂



駒方校舎 機械実習室



新富町 理工学部全景



新富町 理工学部電気実習

まだ第二次大戦の爪跡が名古屋市内に散在する昭和33年4月29日駒方本部の講堂(写真で1700名の入学生に對して大串総長がメッセージを述べたと当時の名城大学新聞は記載しています。それから半世紀余が過ぎ去ったこととなりますが、この講堂は昭和34年9月に火災焼失したためこの講堂で入学式または卒業式を経験した現役大学職員は皆無ではないかと思えます。紛争で通常では考えられない遅い4月末の入学式当日は満員で立錐の余地もなかったと記憶しています。入学式が終了し、帰りがけに1階の破れた窓ガラスから屋内を覗い

たら油臭さと共に余り手入れが行き届いていないと思われるベルト式旋盤が目に入り、更に奥の方にはベルト式のロール盤らしき工作機械が並んでいたこと、その後新富町の理工学部の校舎で渡り廊下の片隅にうず高く積み上げられた素焼き色した電気コンロの残物などが鮮明に脳裏に焼きついていきます。また、この新聞には理工学部、農学部、薬学部の理系学部に対して二年までに修得出来る総単位数の75パーセント以上を修得していること、さらに各学科が定めている指定専門科目を全て習得していることが進級条件の一つでも不合格であれば進級不合格となる。ただし、救済措置として仮進級すること出来る旨の進級制度が実施されたとの記事が掲載されています。この制度

はほとんど変更されることなく天白に移設されるまで続き、その後諸般の事情に鑑み進級は62単位以上修得しないと進級が不合格になりました。これはおよそ60パーセントに相当しておりこのことが学生の勉学・学力に大きな影響を与えていることは否めないと思われ

ます。入試ならびに教務関係に携わって印象深い事柄は昭和の末に18歳人口の減少から大学経営破綻が生じるという問題が巷に叫ばれ問題化してきて、その18歳人口減少の検証を行いました。当時危惧していた事象が全てではないにしても現在顕在化しているように思われます。それは学園紛争が解決し天白に集結しそれまでの遅れと地上最低の大学といわれた恥辱を祓うことに力をいれ、本質的なことをないがしろにしたのではないかと思います。数年前から日本技術者教育認定機構が機能し始め、その講習会に参加し非常に困惑しました。それは審査側からそれぞれの

大学には「建学の精神」があり、それに従った学習・教育目標と教育内容が公表され実施し、社会が要求している水準を満足しているかを否かを審査すると説明があったときです。大学紛争がありやむをえなかったにしろ、紛争終結してから30年に及ぶ間名城大学は社会にどのような卒業生を輩出するのかを明記せずに「建学の精神」という言葉に蓋をして「不偏中正」という四字をもって表現してきたことです。かつてある政党の党首が出身大学を選択した理由を尋ねられたとき、入学試験を受験するために訪れたときその正門の一隅にその大学の建学の精神が石に刻まれてあり、その精神に感銘を受け入学したと語ったことを耳にしたことがありますが、まさに大学は立脚する哲学があり、それが社会に認められそれに従った教育をしなければならぬと考えます。そのことは名城大学だけでなく、それに付随する組織にも当てはまることではないかと思えます。たとえば校友会にしろ学部同窓会にしろ会則があり、目的は明記されており会則はその組織を運営するに必要事項ですが組織の存在哲学が明確でないと思えます。名城大学の存在哲学(精神)を明確にし、それを組織を構成する人達(教職員・学生・卒業生)が共有することで強い有能な組織として存在できるのではないかと思います。中部地区私学の雄たうんことを望み機会あるごとに叫ばれてきましたが雄になりえないのは、哲学を共有することが出来なかったことではないかと感じる昨今です。大学を去るにあたり日ごろ脳裏の片隅にあることを申し上げ更なる発展を祈念します。

理工同窓会 総会・記念講演・懇親会



理工同窓会 総会風景



記念講演会 — 講師 名城大学経済学部 佐土井 有里 教授



理工同窓会 懇親会



理工同窓会 懇親会

理工同窓会の総会・記念講演会・懇親会が、平成22年6月20日（日）に開催され、天候の悪い中多くの皆様に参加して頂き誠に有難うございました。皆様のお陰を持ちまして無事終了致しましたことに、役員一同心より感謝しております。

① 理工同窓会

10時30分～11時20分

② 記念講演会

11時30分～12時45分

講師：名城大学 経済学部
教授 佐土井 有里
『アジア経済——発展する国——』
しない国 その原動力は「人」——

③ 懇親会

13時～14時30分
タワー75 15F
レセプションホール

総会において、清水会長からは理工同窓会への思いと今までの活動報告についてのお話をして頂きました。その後、来賓者の紹介があり、下山学長からは名城大学の現状と今後について、厳しい状況となるため、同窓会との絆を深めたいというお話をして頂きました。安藤理工学部長からは理工学部の現状と今後について、現在の4号館が新設されるというお話をして頂きました。林校友会会長より理工同窓会は、卒業生の約3分の1を占めている名城大学を象徴する存在であるので、校友会の活動・

大学支援には是非協力をお願いしたとお話をして頂きました。

総会の最後に、新会長の岩崎様より新副会長の紹介と理工同窓会の活動において『絆を深めよう』を基本方針と行いたいというお話がありました。

記念講演会では、名城大学経済学部 教授佐土井有里先生より『アジア経済——発展する国——』という題目で、シンガポールとマレーシアの違いについての興味あるお話をして頂きました。当日発表された内容（パワーポイント）をホームページにて紹介しますので興味ある方は是非ご覧ください。

懇親会では、名城大学常勤理事の板橋先生からより詳しい大学の状況と特に理工学部は就職決定率が他の学部

比べて非常に高いこと理工同窓会へ大学支援のご協力についてのお話をして頂きました。名城大学理工学部後援会事務局の堀様にて後援会の活動を紹介します。乾杯を行って頂きました。大学関係、校友会関係、後援会関係並びに各学科同窓会の横への絆が深められる歓談となりました。参加された皆様は、大変有意義な1日過ごされたものと思います。

総会、記念講演会、懇親会の状況を写真にてホームページに掲載しますのでご覧ください。

総会資料・会則の変更等 詳しくお知りになりたい方はホームページ等をご覧ください。

理工各科同窓会案内

電気会

会長 伊藤 栄
新春情報交換会開催
日時：平成23年1月22日（土）17：00～
場所：名古屋ガーデンパレス
会費：8000円受付にて拝受

機械会

会長 渡辺治比古
第10回新春交流会開催
日時：平成23年1月29日（土）18：30～
会場：名古屋ガーデンパレス
問い合わせメール：watanabeh@shinmei.co.jp

交通機械会

会長 高垣満正
新春賀詞交換会開催
日時：平成23年2月初旬予定 場所：未定
ホームページ：http://www.geocities.jp/traffic_ob_meijo_u/

土木会

会長 河合 紀
年末情報交換会開催
日時：平成22年11月26日（金）18：00～
場所：名駅前 レセプションハウス

建築
同窓会

会長 小木曾森司
新春情報交換会開催
日時：平成23年1月21日（金）18：00～
場所：アイリス愛知

理工同窓会・各学科同窓会・技術士会のホームページが出来ました!

理工同窓会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/	機 械 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kikaikai/
〈各学科同窓会・技術士会〉		交通機械会	http://www.geocities.jp/traffic_ob_meijo_u/
数 学 会	http://math.meijo-u.ac.jp/sugakukai/	土 木 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/dobokukai/
情 報 会	http://www.meijo-johokai.org/	環 境 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kankyokai/kan_gyojiyote.html
電 気 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai	建築同窓会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kentiku/
材 料 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/zaiyoukai/top.html	技 術 士 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/gijutusikai/

交通機械会からのお知らせ

昨年交通機械会会長に就任しました昭和48年夜久ゼミを卒業の高垣です。

今まで一会員として、外から会をみていました私が、前会長の永津様から、引き継ぎ間もない中での状況でしたが、役員会で何度も検討を続け、先生方のご協力もいただき、「ゼミ対抗ソフトウェア大会」への卒業生参加、「賀詞交歓会」に衆議員議員野田聖子様を招いての講演 等 例年行っている事業をより充実できたと考えています。

また新事業として「ゼミ長懇親会」を行いました。会員の皆様に満足頂けたかどうか、気がかりな面もございます。いたらぬ点多々あると存じます。

これからも会長として、会の活性化を具体化することまた、
会員皆様の同窓会に対する熱き思いを事業に織り込むよう
に努力してまいります。

22年度の活動方針は、

- 同窓生及び先生方と交流をより一層深めよう
- 在校生との交流会を積極的に行おう
- 大学の取り組み状況を同窓生に伝え、同窓会及び母校への関心を持ってもらおう
- 卒業名簿の整理、情報の共有化を目指す為にメール配信網の整備等

今後も事務局よりホームページや案内状をもって展開いたしますので、卒業生皆様のご協力をお願いします。

監査	監査	学内幹事	学内幹事	学内幹事	学内幹事	学内幹事	学内幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長	役職			
小池 晋也	小林 信之	鈴木 秀和	池邊由美子	杉山 秋博	谷田 真	瀧 佳弘	來海 博央	永井 功	下地 康夫	石川 豊	鈴木 祥隆	高木 理仁	志賀 保	小川 芳孝	伊藤 充紀	阿部 亮太	鳥居 一仁	祖父江力三	岩室 隆	開米 和明	近藤 好彦	片野 泰行	前島 利夫	渡辺 顕造	飯島 祐樹	中坪 宏太	中山 俊一	小木曾森司	庵原 英雄	河合 紀	伊藤 栄	渡辺治比古	岩崎 征一	氏名
材・H21	土・H10	情・H21	材・H13	土・S49	建・H7	交・S46	機・H7	環・H18	建・S47	建・S47	土・S46	土・S46	交・S46	交・S48	材・H21	材・H21	機・S60	機・S45	電・S45	電・S47	情・H20	数・S64	数・S42	環・H16	材・H20	情・H22	数・S32	建・S48	交・S47	土・S46	電・S50	機・S57	建・S41	学部・回生

(任期・平成22年4月～平成23年3月)

平成22年度
理工同窓会役員名簿

農学部 同窓会 だより

農学部創立 60周年に寄せて



農学部同窓会長
大西 成 長
(農・農・S42年卒)

卒業生の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。
さて、今年度は農学部創立60周年を迎え、秋には同窓会も共催で記念行事が行われることになっております。

名城大学農学部は昭和25年末に春日井市をはじめ近隣市町村の支援を受けて、旧陸軍名古屋造兵廠鷹来製作所跡地、建物を借用して開設され、その後、天白に至る60年間の歩みにおいて、約1万1700名になる卒業生を世の中に輩出してきたことは、名城大学農学部が高等教育機関としての社会的責任を果たしてきた証拠であらうと考えます。

会員の皆様の中には大学・学部が整備充実される過程で、出身

学科や研究室の名称が変更されたり研究室が無くなったと寂しく思っておられる方もおられるかもしれません。しかし、これも教育・研究内容に沿った措置であり、我々卒業生や母校名城大学農学部に通じる「伝統」は変わる事は無いと理解しております。会員の皆様方におかれましては、この事を誇りにして、母校の発展の為に一層のお力添えをいただきますようお願い致します。

秋には記事にも記載しておりますように農学部、農学部後援会と共催で農学部創立60周年記念行事として祝賀会などを計画しております。また、これら記念式典に先立ちまして、同じ会場で農学部同窓会総会も行うべく計画しております。会員の皆様には万障繰り合わせの上お集まりいただきますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々のご健勝を祈念致し挨拶とさせていただきます。

農学部同窓会の皆様へ

農学部長 大場 正春

卒業生の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃何かと農学部の活動にご支援いただき感謝しております。

さて、平成12年に農学部創立50周年記念事業を行って以来10年、今年は創立60周年となりました。わずか10年間でありますが、この間に農学部は生物

◎農学部同窓会活動報告

平成22年度 役員会・幹事会報告

平成22年5月16日(日)午後には駅前キャンパス(MSAT)で行われた。

【審議事項】

①平成21年度事業報告

- 平成21年
4月26日 役員会・幹事会(天白キャンパス)
6月6日 田植祭(附属農場)
9月19日 名城大学Day(農産物販売)
10月17日 収穫祭(附属農場)
11月15日 臨時役員会(天白キャンパス)
平成22年
2月6日 臨時役員会(天白キャンパス)
3月19日 準会員(平成21年度卒業生)卒業記念品贈呈
表彰規程による準会員の表彰
退職教員記念品贈呈
②平成21年度会計報告(別表参照)
一般会計、特別事業積立金、育英基金積立金

- ③平成22年度・23年度役員(別表参照)
④平成22年度事業計画
平成22年
5月16日 役員・幹事会(名駅サテライトキャンパス)
6月19日 田植祭(附属農場)
9月18日 名城大学Day(農産物販売)
9月19日 同窓会総会・農学部60周年記念事業(ホテルグランコート名古屋)
10月16日 収穫祭(附属農場)
平成23年
1月 役員会・幹事会
3月 準会員(平成22年度卒業生)卒業記念品贈呈
表彰規程による準会員の表彰

- ⑤平成22年度会計予算(別表参照)
一般会計、特別事業積立金、育英基金積立金
⑥農学部60周年記念事業について
⑦表彰規程による表彰対象者について
⑧その他

【報告事項】

大学の近況について

準会員表彰および卒業記念品贈呈

平成21年度学位授与式終了後、ホテルグランコートの名古屋において農学部卒業祝賀会行われた。その席で以下の者が表彰規程に基づき準会員として同窓会長より表彰された。

- 生物資源学科 米川 透
生物資源学科 原田 志乃
応用生物化学科 奥田 真理子
生物環境科学科 小林 健二

また、全卒業生に対して記念品として各研究室毎の集合写真などが入った農学部同窓会史が贈られた。

環境科学科の新設、5号館の解体と研究実験棟I(E館)の新築、9号館の改装およびこれに伴う各研究室や学生実験室の移転という大きな出来事がありました。この結果として農学部の教育研究環境は一新されたといっているほど大きく改善され、今後の農学部のさらなる発展への基礎が固まりつつあります。折しも今世の中には食料問題、環境問題など、農学に関わる諸問題が噴出しており、名城大学農学部での教育、研究活動のさらなる発展が社会的に強く望まれています。

す。そこで、この10年間の農学部の大きな変化を振り返り、今後の農学部の発展方向を見定めるための行事として、農学部創立60周年記念事業を農学部同窓会、後援会のご理解とご協力を得て、三者の共催で行うこととしました。その詳細は本ページに掲載されております。

卒業生の皆様には是非この機会にこの記念事業にご参加いただき、農学部の今後の発展方向をとまにお考えいただくとともに、今後とも末永くご支援いただきますようお願いいたします。

応援団農学部OB会が 鷹来校舎で開催された

応援団設立60周年記念行事の一環として平成21年11月21日に春日井キャンパスで応援団農学部OB会が行われた。この会の主旨は農学部の鷹来時代に活躍された先輩諸氏への感謝と故人になられた方々の思い出を語る会として開催された。昭和46年以前の卒業生にとつては、歴史ある鷹来校舎で学び、農学部のシンボリックな大時計が取り付けられていた古い校舎が思い出される昔懐かしい思い出の場での式典、講演会、講演会、懇親会となった。

講演会では、平成14年にイタリアの非営利団体スローフード協会から日本人で初めて大賞を贈られた武富勝彦氏(昭和43年卒)佐賀県立農業大学校講師の有機栽培で独特の色合い、高い栄養価が見直されている古代米がテーマであった。世話人代表の石川正氏(昭和41年卒)より皆様へのご支援と協賛の御礼で4時間のイベントが終了した。



農学部人事

退職

平成21年度に次の方々が退職されました。長きにわたり、ご指導くださり有難うございました。

教員

松久次雄先生
(栄養・食品学研究室)
有田豊先生
(環境動物学研究室)
市原茂幸先生
(応用微生物学研究室)
村山重俊先生
(環境土壌学研究室)
平井篤先生
(遺伝育種学研究室)
青野求先生
(環境分析化学研究室)
事務職
山川珠季さん

新任

平成22年4月から次の方々が着任されました。

寺田理枝先生
(遺伝育種研究室)：教授
加藤雅士先生
(応用微生物学研究室)：教授
日野輝明先生
(環境動物学研究室)：教授
大浦健先生
(環境分析化学)：准教授
湊健一郎先生
(栄養・食品学研究室)：准教授
村野宏達先生
(環境土壌学研究室)：助教
事務職
荒田永利子さん

昇格

松儀真人先生
(天然物有機化学研究室)
：准教授から教授に昇格
前林正弘先生
(生物物理化学研究室)
：助教から准教授に昇格
細田晃文先生
(環境微生物学研究室)
：助教から准教授に昇格

農学部同窓会役員名簿

(平成22年5月1日)
平成24年4月30日)

役職	氏名
会長	大西 成長
副会長	奥田 英司
副会長	市川 徹男
副会長	永井 孝
副会長	中西 孝徳
副会長	山岸 健三
会計主任	氏田 稔
会計主任	平児慎太郎
名簿主任	小原 章裕
名簿主任	梶田 優
名簿主任	下野 昌幸
名簿主任	栗山 美親
名簿主任	壁谷 光
名簿主任	中道 慶一
書記主任	林 利哉
書記主任	山田恵一郎
会報主任	小原 章裕
会報主任	佐々木 優
会報主任	佐藤 厚一
会報主任	柴田 典政
会報主任	横内 茂
会報主任	前田 省三
会計監査	福田 善一
会計監査	田中 繁男
会計監査	今泉 進
名城大学理事	松田 昌久
名城大学評議員	神谷 政義
校友会理事	奥田 英司
校友会理事	永井 孝
校友会理事	中西 孝徳
校友会理事	伊藤 恵市
校友会理事	小原 章裕
校友会理事	小深田 輔夫
校友会選挙	小高 保紀
管理委員	

農学部同窓会総会・ 農学部創立60周年 記念式典・祝賀会

日時：平成22年9月19日(日)
15：30～

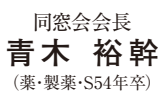
場所：全日空ホテルズ
グランコート名古屋

※詳細は別紙同封のチラシをご覧ください。

卒業生研究室連絡係・学年幹事

研究室名	氏名
生物資源学科 幹事：安藤考紀	城 雄大
園芸学研究室	水野 佑哉
遺伝育種学研究室	橋詰 一
作物学研究室	大前 達也
植物病理学研究室	三田村 有紀
昆虫学研究室	木藤 拓真
生物資源経済学研究室	安藤 考紀
植物分子遺伝学研究室	山田友里菜
応用生物化学科 幹事：山田友里菜	宮田百合名
栄養・食品学研究室	春日井亮太
農薬化学研究室	伊藤 聖
応用微生物学研究室	柘植真里子
食品機能学研究室	久野 裕紀
生物物理化学研究室	御厨 舞香
生物化学研究室	山田友里菜
天然物有機化学研究室	近藤 立
生物環境科学科 幹事：近藤 立	大崎 貴史
植物保全学研究室	安藤 実沙
環境動物学研究室	窪田 雅之
ランドスケープ・デザイン学研究室	岩田 佳大
環境微生物学研究室	川上 貴史
環境分析化学研究室	尾本 祐介
環境土壌学研究室	近藤 立
植物機能科学研究室	黒部 貴秀
フィールドサイエンス研究室(農場)	

名城大学薬学部同窓会の 将来の同窓会組織について



名城大学葉学部同窓会会員の皆様におかれましては益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。また、平素から同窓会活動にご理解並びにご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年の5月22日に開催された薬学部同窓会代議員総会にてご承認を頂き、私は、薬学部同窓会会長職の二期目を仰せつかることになりました。最初の一期目の二年間を振り返ってみますと、当初からの目標であります「同窓会組織の改革」を掲げて活動を行ってまいりましたが、実際のところ、未だ充分な同窓会組織改革には至っていないと思っております。同窓会組織を大きく分類すると、本部の同窓会役員会そして、その役員会の執行をチェックし、同窓会の最高決議機関である代議員総会の二つの組織が存在します。また、その他の組織として、各地にて開催される薬学会年会及び薬剤師会学術大会に合わせて同窓会を設営していただく為の薬学部同窓会の支部の組織が存在します。支部に関しては、本年3月に発刊しました薬学部同窓会会報誌、城葉第23号に記述しましたし、今

回は誌面の制約があるため支部についての記述は次回に回すことにします。

先ず本部の同窓会役員会について考えてみますと、本部の同窓会役員会の事務局の充実が遅れているため役員の皆さんの相当な事務量の負担増が見受けられます。毎月開催している役員会には、50ページ以上の会議資料の作成及び印刷に追われ、仕事の合間を縫って役員自身が行っている事務量としては、かなり多い仕事量であると感じています。私は、将来の同窓会組織は、事務局が充実できないと充分な同窓会活動もできなくなり、同窓会活動の活性化に繋がっていかないと考えています。そこで、今後は、本部事務局を充実させることに取り組んで行きたいと考えています。週の何日間か出勤していただけるパートさんを雇用し、現在、役員が行っている事務量の軽減に努めていきたいと考えております。次に、私は、同窓会役員会の監視役である代議員の皆さんの充実を図らないといけないと考えています。年一回、5月に定例代議員総会を開催しますが、出席していただける代議員の人数は約半数であり、委任状を加えて定足数を満たしているのが現状であります。

そこで平成22年5月に開催した代議員総会の開催案内の中に、代議員の承諾書を同封させていただき、代議員の皆さんが同窓会代議員を前向きに取り組んでいただけるかどうかの意思確認をさせていただきました。その結果、早い回生の方々の返信率は非常に高く、諸先輩方が同窓会活動に非常に協力的であることが確認でき、私どもはとても安堵し、諸先輩方のご協力に心より感謝申し上げるべきであると思っております。しかしながら、卒業年度が最近になればなるほど返信率が悪くなり、特に卒業して5年から20年ぐらいいまでの回生の代議員の方々からの未返信が多く見られました。この年代の卒業生は、社会人になってある程度仕事も覚え、仕事に邁進しないといけない年代であり、また、結婚され子供さんが幼い年代であるため、なかなか同窓会活動にまで協力できない年代であるように考えられます。しかしながら、同窓会活動は1回生から今年卒業した53回生までの全卒業生のために行うものであり、年齢に関係なく全卒業生が一体となって行っていくものであると私は考えております。

今回の代議員の承諾書の返信を頂けなかった回生の

代議員の方々には、少なくとも年一回開催される代議員総会に出席できるよう方々に交代して頂き、本会の最高決議機関である代議員総会が、今以上に充実したものになるように改革していきたいと考えております。今後各回生の代議員の皆様には積極的に同窓会活動へのご参加と、また代議員の皆さんを中心とした同期会の開催を計画及び実現することをお願いし、回生ごとの結束をより強固なものにしていだきたいと考えております。それが将来の薬学部同窓会全体の組織力の強化に繋がって行くものと確信しております。今後も同窓生の皆様の今まで以上のご理解とご協力の程を切にお願い申し上げます。

最後に、今後の同窓会の主な行事予定を次のようにお知らせいたします。

本年の9月23日(祝)は、薬学部同窓会三重県支部の設立総会を開催する予定です。以前存在していました薬学部同窓会三重県支部は、もともと若い年代による薬学部同窓会三重県支部を立ち上げるため、前向きに解散し、現在は、若い回生により三重県支部設立の準備中であります。次に、10月10日(日)には、薬剤師学術大会後の同窓会懇親会を長野市にて開催することを計画しております。また、11月6日(土)には、ウェスティンナゴヤキャッスルにて、第8回同窓交流会を開催する予定です。更に、11月21日(日)には、第7回城薬ゴルフコンペ(四日市市バティーゴルフ倶楽部にて)を開催する予定です。計画中です。今年の「城薬」第23号におきまして、このゴルフコンペの開催は、11月14日とご案内致しましたが、諸事情により、11月21日(日)開催に変更となりましたので、皆様の手帳等に変更を記録して頂きますようお願いいたします。このコンペは、毎回60数名の参加者があり、会員同士の相互の親睦並びに情報交換の為に有益なゴルフコンペであると考えております。ゴルフの腕に自信のある方、また初心者の方でも結構ですので、気楽にご友人をお誘い頂き、ご参加して頂けましたなら幸いに存じます。皆様の奮ってのご参加をお願い申し上げます。

今後とも同窓会役員一同は、同窓会会員の皆様と名城大学薬学部的发展に寄与できるように、更なる精進をして参りたいと存じますので、今後とも皆様のご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

薬学部同窓会役員名簿
(平成22年5月～平成24年4月)

平成22年度事業計画

◎短期計画

(1) 会議および懇談会

①役員会	通常毎月1回開催
②代議員総会	年1回
③各委員会	随 時
④支部長会	随 時
⑤学生会との懇親会	随 時
⑥後援会との懇親会	随 時
⑦教授会との懇親会	年2回
⑧三者(教授会・後援会・同窓会)会議	随 時

(2) 事 業

① 卒後教育講座の開催(薬剤師向け学術ビデオを含む)

5月9日(日)	心房細動の最新の治療戦略 (薬物療法と非薬物療法) 名古屋掖済会病院 病院長 加藤 林也	薬剤師に必要なリハビリテーションの知識 (シリーズ チーム医療) 藤田保健衛生大学 リハビリテーション学科 学科長 金田 嘉清
6月13日(日)	統合失調症患者への服薬指導 名城大学薬学部病院薬学研究室 准教授 亀井 浩行	今後の薬剤師の展望について (保険医療の観点より) 日本薬剤師会 理事 三浦 洋嗣
7月11日(日)	癌医療の心の科学(シリーズ オンコロジー) 藤田保健衛生大学 精神神経科学 准教授 内藤 宏	薬剤師に必要な更年期障害の知識 藤田保健衛生大学 産婦人科 准教授 多田 伸
8月1日(日)	緩和医療(シリーズ オンコロジー) 藤田保健衛生大学病院 公衆衛生看護科 屋木 景子	薬剤師に必要な放射線療法の実践(シリーズ オンコロジー) 藤田保健衛生大学 放射線学科 教授 鈴木 昇一

② 会誌の発行: 同窓会誌「城薬」第23号の発行

③ 第8回同窓会交流会の開催

平成22年11月6日(土) ウェスティンホテルナゴヤキャッスル(天守の間)にて開催

④ 学内研究者に対する研究助成金の交付

⑤ 事前学習補助者(ボランティア)募集の協力

⑥ 校友会業務との連携協力強化

⑦ 会費納入拡充の実施・事務処理の能率化

⑧ 同窓会室の有効活用

⑨ クラス会の活性化・支部活動の活性化

⑩ インターネットホームページの充実 <http://www.meijo-yaku-ob.jp/>

⑪ 会員名簿の整備・代議員の充実

⑫ 会員親睦レクリエーション事業(ゴルフ・テニス・スキー・植物観察会等)

(3) 行 事

① 第7回城薬ゴルフコンペ

平成22年11月21日(日) 四日市リバティーゴルフ倶楽部

② 日本薬剤師会学術大会開催地にて同窓会懇親会の開催予定

平成22年10月10日(日)(長野市)

③ 日本薬学会第131年会開催地にて同窓会懇親会の開催予定

平成23年3月30日(水)(静岡市)

④ 大学祭への参加・協力

⑤ 代議員の研修・視察旅行

⑥ 同窓会と後援会および教授会との研修会

⑦ 新入生歓迎会の開催

⑧ 学部学生への進路説明会共催

⑨ 学生対象に「先輩からアドバイス」の会開催

◎中期計画

(1) 卒業生に対する調剤教育研修の開催

(2) 既卒者の国家試験対策への協力

(3) 財源確保

(4) 校友会との連携・支部結成の促進、活動の活性化

(5) 他大学・他学部との連絡・協力・懇談



お知らせ

◎ 第43回 日本薬剤師会学術大会 in 長野 名城大学薬学部同窓会懇親会

日時: 平成22年10月10日(日)
午後6時から(予定)

◎ 第8回 薬学部同窓交流会

日時: 平成22年11月6日(土)
午後6時から
場所: ウェスティンナゴヤキャッスル
「天守の間」

◎ 第7回 城薬ゴルフコンペ

日時: 平成22年11月21日(日)
場所: 四日市リバティーゴルフ倶楽部

詳しくは名城大学薬学部同窓会ホームページに掲載する予定ですのでご確認ください。皆様、奮ってご参加してください。

名城大学薬学部同窓会ホームページアドレス
<http://www.meijo-yaku-ob.jp/>

都市情報学部 同窓会 だより

ホームカミングデーは 絆を結ぶ交流の場



同窓会会長
古沢 慎也
(都市情報・H15年卒)

平素は都市情報学部同窓会活動にご支援
ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
ます。

昨年度のインターネットを使った総会では、
皆様よりアンケートを通じ、貴重なご意見を
たくさん頂戴することができました。この場
をお借りし、重ねてお礼申し上げます。

さて、今年はホームカミングデー開催の
年です。卒業生同士や先生方が久しぶりに
再会して大いに盛り上がりたただけますよ
う、現在開催に向けて準備を進めております。
今回は2010年11月14日(日)に、天白キャ
ンパスでの開催を予定しておりますが、詳し
くは後日ハガキにて、改めてご案内させてい
たします。

役員一同、たくさんの方のご参加を心より
お待ちしております。



都市情報学部同窓会とは？

都市情報学部同窓会は都市情報学部
の卒業生が卒業後においても、お互いの
交流を深めることができる事を目的に活
動しています。昨年度の卒業生を含め、
約2200名の会員数となりました。主
な活動としては、都市情報学部卒業生や
先生方を対象とした懇親会(ホームカミ
ングデー)を1年おきに開催しております。
その他、大学祭やスポーツ大会をはじめと
した在学生向けのイベントに参加・支援
をいたしております。今後は、在学生と
卒業生との連携を強化し、都市情報学
部の発展に寄与して参りたいと考えてお
ります。

◎連絡先の変更をご連絡ください

最近同窓会からの郵便物が「あて先不明」
で届かない場合がございます。住所等の変
更がございましたら同窓会ホームページで
手続きが簡単にできます。

お知り合いの方で会報が届いていない方
がございましたら、あわせてご案内いたさ
ますと幸いです。

◎皆様の活躍をご紹介ください

都市情報学部同窓会では、社会で活躍
する都市情報学部卒業生を活動の中で紹
介していきたいと思っております。在学生
の就職活動等への大きな励みにもなります。
仕事やボランティアなど社会で活躍されてい
る方のご連絡をお待ちしております。



連絡先

名城大学都市情報学部同窓会
〒509-0261 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3
名城大学都市情報学内

ホームページアドレス <http://www.meijo-dousou.com>
携帯電話 <http://m.meijo-dousou.com>



校友会役員

役職		氏名	
会長	玉置 昌史	副会長	名取 昭正
常任理事	大橋 洋之	常任理事	三浦 弘雅
理事	伊藤 大介	理事	橋本 昌紀
会報発行委員	前島 慶子	学生会選考委員	

同窓会役員

役職		氏名	
会長	古沢 慎也	副会長	佐藤 貴信
会計	竹内 良考	書記	長尾 和広
監査	岸田 満	監査	神通 佑吉

人間学部 同窓会 だより

今年と同窓会を
皆さんで
盛り上げましょう！



同窓会会長
米山 麻衣子
(人間・H19年卒)

人間学部同窓会の皆さん卒業して、元気で頑張っていますか。

月日が流れるのは早く、それは歳を重ねる事にその早さを増すような気がします。同窓会会長に就任してから4年目に入りました。卒業して次第に仕事になれてきた方、またそれによって多くの仕事を任されている方、元氣にご活躍の事と思います。

校友会50周年の行事で皆様にご協力頂いた事がつい先日のように感じます。会長に就任してから後輩との連携が不足しているように思います。是非皆さん、大学の校友会事務局に連絡していただいて、私たち同窓会を盛り上げていただけると嬉しく、助かります。昨年は思っていたような同窓会活動が出来ていないので本当に申し訳ないと思ってお

ります。今年は、都市情報学部同窓会の皆様と合同で同窓会を行いたいと思います。人間学部は比較的女性が多いので、都市情報学部同窓会の皆様と合同同窓会が出来れば、多くの参加がいただけると期待しております。働き始めて職場で悩みをお持ちの皆さん、友達を誘って是非参加していただき、人間学部同窓会を盛り上げましょう。ここで知り合ってまた大きな友情の輪が出来るといいと思います。

第1回

人間学部・都市情報学部 合同同窓会開催

日時 … 2010年11月14日(日)
14:00~17:00(予定)

場所 … 名城大学天白キャンパス
タワー 75 15F
レセプションホール



全国に拡がる 校 友 数

会員番号にもとづいて会員原簿の整理を行っています。
払込取扱票に記載されている番号が会員番号です。
転勤、引越し、住居表示の変更等で住所が変更された時は、
同封の変更届の用紙（宛名用紙の上部）でご連絡願います。

166,839名

平成22年8月1日現在（その他 48,917名）



ホームページアドレス

校友会では《見て楽しい》《魅力のある》をテーマに
ホームページを全面的に見直しました。

<http://www.meijo-ob.com/>

リニューアルしました
ホームページ
トップ画面



Eメールアドレス

ご意見・ご要望・住所変更等は

✉ honbu@meijo-ob.com

◆本会報編集におきましては、編集委員による校正に鋭意努めてはありますが、原稿締切から発行までの時間的余裕がなく、校正が行き届かない場合がございます。執筆いただきました方におかれましては、誠に恐縮ではございますが、発行後の修正につきましては、校友会ホームページにてのお知らせとさせていただきますので、予めご了承ください。

◆卒業生の皆様へ 母校訪問時には是非校友会事務局にお立ち寄りください。呈茶券を差し上げますので、タワー 15階からの展望をお楽しみいただきながらごゆっくりお過ごしください。（校友会事務局開室時間内、及び喫茶店営業時間内に限らせていただきます。）

名城大学校友会

平成22年8月1日 発行

会 報
第56号

名城大学校友会事務局

〒468-0073 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地
TEL. 052-832-2515 (直) FAX. 052-835-1222

●開室時間：月～金 8：50～17：20
休 日：土・日・祝日
夏期（8/8～8/17）
年末年始（12/28～1/4）